

## ○ 鈴鹿工業高等専門学校学則

〔平成16年4月1日〕  
学則第1号

最終改正令和6年3月6日

## 鈴鹿工業高等専門学校学則

## 目次

## 第1章 総則

- 第1節 目的（第1条）
- 第2節 教育上の目的及び自己評価等（第2条）
- 第3節 組織（第3条—第7条）
- 第4節 職員組織（第8条—第9条）
- 第5節 学年、学期、休業日及び授業終始の時刻（第10条—第13条）

## 第2章 学科

- 第1節 修業年限及び在学年限（第14条・第15条）
- 第2節 入学（第16条—第24条）
- 第3節 教育課程及び履修方法（第25条—第31条）
- 第4節 休学、転学、留学及び退学（第32条—第39条）
- 第5節 学生準則（第40条）
- 第6節 卒業及び準学士（第41条・第42条）
- 第7節 賞罰（第43条・第44条）
- 第8節 学寮（第45条）

## 第3章 専攻科

- 第1節 修業年限及び在学年限（第46条・第47条）
- 第2節 入学（第48条・第49条）
- 第3節 教育課程及び履修方法（第50条—第53条）
- 第4節 休学、留学及び退学（第54条—第56条）
- 第5節 修了（第57条—第58条）

## 第4章 補則

- 第1節 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生（第59条—第61条）
- 第2節 検定料、入学料、授業料及び寄宿料（第62条—第69条）
- 第3節 公開講座等（第70条・第71条）

## 第1章 総則

## 第1節 目的

（目的）

第1条 独立行政法人国立高等専門学校機構鈴鹿工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

なお、専攻科においては、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工学の高度な専門的知識と実践的技術を教授研究し、もって広く産学の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

2 本校は、前項の目的を実現するための教育を行うことにより、社会の発展に寄与するものとする。

### 第2節 教育上の目的及び自己評価等

（教育上の目的及び自己評価等）

第2条 本校の教育水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、学校、各学科又は専攻科における教育上の目的を定めるとともに、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項に掲げる措置に加え、本校の教育研究等の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

3 前2項に掲げる点検及び評価に関する必要な事項は、別に定める。

### 第3節 組織

（学科）

第3条 本校に学科を置く。

2 学科に置く学級数、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 科	学級数	入学定員	収容定員
機 械 工 学 科	1	40人	200人
電 気 電 子 工 学 科	1	40人	200人
電 子 情 報 工 学 科	1	40人	200人
生 物 応 用 化 学 科	1	40人	200人
材 料 工 学 科	1	40人	200人

3 前項の規定にかかわらず、校長は、教育上有益と認めるときには、異なる学科の学生をもって学級を編成することができる。

（専攻科）

第4条 本校に、専攻科を置く。

2 専攻科に置く専攻、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

専 攻	入 学 定 員	収 容 定 員
総合イノベーション工学専攻	24人	48人

3 総合イノベーション工学専攻に、次の各号に掲げるコースを設ける。

(1) 環境・資源

(2) エネルギー・機能創成

(3) ロボットテクノロジー

(4) 先端融合テクノロジー連携教育プログラム（以下「連携教育プログラム」という。）

4 総合イノベーション工学専攻に在学する学生は、前項各号に掲げるコースのうちから主たるコースを一つ選択し、当該コースの教育課程を履修しなければならない。

5 連携教育プログラムに関し、必要な事項は別に定める。

（附属施設等）

第5条 本校に、図書館及び教育研究活動に必要な次の附属施設を置く。

- (1) クリエーションセンター
- (2) 情報処理センター
- (3) 共同研究推進センター
- (4) 教育研究支援センター
- (5) イノベーション交流プラザ

（事務部）

第6条 本校に、庶務、会計及び学生の厚生補導に関する事務を処理するため、事務部を置く。

（内部組織）

第7条 第3条から前条までに規定するもののほか、本校の内部組織は、別に定める。

#### 第4節 職員組織

（職員組織）

第8条 本校に校長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。

（副校長、教務主事、学生主事及び寮務主事）

第9条 本校に、副校長、教務主事、学生主事及び寮務主事を置く。

- 2 副校長は、校長の職務を補佐し、校長の命を受け、校務一般に関することを掌理する。
- 3 教務主事は、校長の命を受け、教育計画の立案その他教務に関することを掌理する。
- 4 学生主事は、校長の命を受け、学生の厚生補導に関すること（寮務主事の所掌に属するものを除く。）を掌理する。
- 5 寮務主事は、校長の命を受け、学寮における学生の厚生補導に関することを掌理する。

#### 第5節 学年、学期、休業日及び授業終始の時刻

（学年）

第10条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第11条 学年を分けて、次の2学期とする。ただし、校長が必要と認める場合は、期日を変更することがある。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

(休業日)

第12条 休業日は、次のとおりとする。ただし、特別の必要があるときは、校長は、これらの休業日を授業日に振り替えることがある。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 日曜日及び土曜日

(3) 開校記念日 4月28日

(4) 春季休業

(5) 夏季休業

(6) 冬季休業

(7) 学年末休業

2 前項に規定する休業日のほか、臨時の休業日は、校長がその都度定める。

3 第1項第4号から第7号に掲げる休業日の開始日及び終了日は、校長が別に定める。

4 第1項の規定にかかわらず、専攻科にあつては、校長が別に定めることができる。

(授業終始の時刻)

第13条 授業終始の時刻は、校長が別に定める。

## 第2章 学科

### 第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第14条 修業年限は、5年とする。

(在学年限)

第15条 第1学年に入学した学生は、10年を超えて在学することはできない。

2 第21条から第23条までの規定により相当学年に入学を許可された学生の在学年限は、前項の規定にかかわらず校長が決定する。

### 第2節 入学

(入学の時期)

第16条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、転入学及び再入学については、学期の始めとすることができる。

## (入学資格)

第17条 入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 中学校を卒業した者
- (2) 義務教育学校を卒業した者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

## (入学の出願)

第18条 入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならぬ。

## (入学者の選抜)

第19条 校長は、前条の入学志願者について、学力検査の成績、出身学校の長から送付された調査書その他必要な書類等を資料として入学者の選抜を行う。

- 2 校長は、前項の選抜方法によるほか、入学定員の一部について、出身学校の長の推薦に基づき、学力検査を免除し、面接及び出身学校の長から送付された調査書その他必要な書類等を資料として入学者の選抜を行うことができる。

## (入学の手続き及び入学の許可)

第20条 前条の選抜の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに所定の書類を提出するとともに、第63条に規定する入学料を納付しなければならない。

- 2 校長は、前項の入学手続きを完了した者（入学料免除又は徴収猶予の申請をしている者を含む）に入学を許可する。

## (編入学)

第21条 第1学年の途中又は第2学年以上に入学を希望する者があるときは、校長は、その者が相当年齢に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認めた場合、前条の規定に準じて相当学年に入学を許可することがある。

## (転入学)

第22条 他の高等専門学校から転入学を希望する者があるときは、校長は、教育上支障がない場合には、選考の上、入学を許可することがある。

## (再入学)

第23条 本校を卒業又は退学した者で、入学を希望する者があるときは、校長は、教育上支障がない場合には、選考の上、相当学年に入学を許可することがある。

## (転科)

第24条 転科を希望する者があるときは、校長は、学年の始めにおいて、選考の上、第3学年までに限り、転科を許可することがある。

### 第3節 教育課程及び履修方法

#### (教育課程の編成方針)

第25条 教育課程は、一般科目及び専門科目からなる授業科目並びに特別活動により編成するものとする。

2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

#### (授業科目及び単位数)

第26条 授業科目及びその単位数は、一般科目にあつては別表第1、専門科目にあつては別表第2のとおりとする。

2 授業科目の単位数は、30単位時間（1単位時間は標準50分とする。第6項において同じ。）の履修を1単位として計算するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、本校が定める授業科目については、1単位の授業科目を45時間（1時間は60分とする。以下本項において同じ。）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算することができる。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間以上の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、別に定めるところによる時間の授業をもって1単位とする。

4 前項の規定により計算することのできる授業科目の単位数の合計数は、60単位を超えないものとする。

5 前3項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位の修得を認定することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

6 第1項に定める授業科目のほか、特別活動を第1学年から第3学年まで各学年30単位時間以上実施するものとする。

7 履修方法については、別に定める。

#### (授業の方法)

第27条 校長は、文部科学大臣が別に定めるところにより、授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 校長は、授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

#### (他の高等専門学校における授業科目の履修)

第28条 校長は、教育上有益と認めるときは、本校の学生が他の高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位を60単位を超えない範囲で本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(大学等における学修等)

第29条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本校における授業科目の履修とみなし単位の修得を認定することができる。

2 前項により認定することができる単位数は、前条により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 第1項の規定は、第37条に規定する留学の場合及び学生が外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。この場合において認定することができる単位数の合計数は、60単位を超えないものとする。

(成績評価基準の明示等)

第29条の2 校長は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

(学修の成果に係る評価及び卒業認定)

第30条 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第30条の2 校長は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(再履修)

第31条 前条の認定の結果、原学年にとどめられた者は、当該学年に係る所定の授業科目及び特別活動を再履修するものとする。

#### 第4節 休学、転学、留学及び退学

(休学)

第32条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により、3ヵ月以上継続して修学することができないときは、校長の許可を受けて、休学することができる。

(休学の期間)

第33条 休学期間については、次のとおりとする。

(1) 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は2年以内を限度として休学の期間の延長を認めることができる。

(2) 休学期間は、通算して、3年を超えることができない。

2 前項に規定する休学期間は、第14条に規定する修業年限及び第15条に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第34条 休学した者は、休学の事由がなくなったときには、校長の許可を受けて復学することができる。

(出席停止)

第35条 学生に伝染病その他疾病があるときは、校長は、出席停止を命ずることがある。

(転学)

第36条 他の学校に入学、転学又は編入学を志望しようとする者は、校長の許可を受けなければならない。

(留学)

第37条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が外国の高等学校又は大学に留学することを許可することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第14条に定める在学期間を含めることができる。

3 校長は、第29条第3項の規定により単位の修得を認定された学生について、学年の途中においても、各学年の課程の修了又は卒業を認めることができる。

4 前3項に関し、必要な事項は別に定める。

(退学)

第38条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により退学しようとするときは、校長の許可を受けて、退学することができる。

(除籍)

第39条 次の各号のいずれかに該当する者は、校長がこれを除籍する。

(1) 第15条に定める在学年限を超えた者

(2) 第33条第1項に規定する休学期間を超えてなお復学できない者

(3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 第20条第2項に規定する入学料免除又は徴収猶予の申請書を受領され、免除を不許可とされた者、半額免除の許可をされた者又は徴収猶予を許可された者で、所定の期日までに入学料を納付しない者

(5) 長期間にわたり所在を確認できない者

2 授業料未納の者の卒業は認めない。

## 第5節 学生準則

(学生準則)

第40条 学生は、この学則に定めるもののほか、別に定める学生準則を遵守しなければならない。

## 第6節 卒業及び準学士

(卒業)

第41条 本校に5年(第21条から第23条までの規定により入学した者については、第15条第

2項により定められた年数)以上在学し、全学年の課程を修了した者には、校長は所定の卒業証書を授与する。

(準学士)

第42条 卒業した者は、準学士(工学)と称することができる。

### 第7節 賞罰

(表彰)

第43条 学生として表彰に値する行為があるときは、表彰することがある。

(懲戒)

第44条 教育上必要があるときは、学生に退学、停学、訓告その他の懲戒を加えることがある。ただし、退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行うものとする。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

### 第8節 学寮

(学寮)

第45条 本校に学寮を設ける。

- 2 学寮の運営その他必要な事項は、別に定める。

## 第3章 専攻科

### 第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第46条 修業年限は、2年とする。

(在学年限)

第47条 学生は、4年を超えて在学することはできない。

- 2 第23条の規定により相当年次に入学を許可された学生の在学年限は、前項の規定にかかわらず校長が決定する。

### 第2節 入学

(入学の時期)

第48条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

- 2 所属コースは別に定める規則により変更することができる。

(入学資格)

第49条 入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 学校教育法第 132 条の規定による専修学校の専門課程を修了した者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) その他、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると本校専攻科において認められた者

### 第3節 教育課程及び履修方法

#### (教育課程の編成方針)

第50条 教育課程は、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設して、体系的に編制するものとする。

- 2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

#### (授業科目及び単位数)

第51条 授業科目及びその単位数は別表第3-1及び第3-2のとおりとする。

- 2 授業科目の単位数は、講義は 15 時間、外国語及び輪講は 30 時間、実験及び特別研究は 45 時間の履修を 1 単位として計算するものとする。
- 3 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、別に定めるところによる時間の授業をもって 1 単位とする。
- 4 履修方法については、別に定める。
- 5 前3項にかかわらず、連携教育プログラムについては、別に定める。

#### (大学等における学修等)

第52条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う大学及び他の高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本校における授業科目の履修とみなし単位の修得を認定することができる。

- 2 前項により認定することができる単位数は 30 単位を超えないものとする。
- 3 第1項の規定は、第 55 条に規定する留学の場合及び学生が外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。この場合において認定することができる単位数の合計数は、30 単位を超えないものとする。

#### (成績評価基準の明示等)

第52条の2 校長は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 連携教育プログラムを履修する場合の成績評価基準の明示等については、別に定める。

(学修の成果に係る評価及び修了認定)

第53条 学修の成果に係る評価及び修了認定に当たっては、所定の単位数を取得した者に対して行うものとし、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。

2 連携教育プログラムを履修する場合の学修の成果に係る評価及び修了認定については、別に定める。

#### 第4節 休学、留学及び退学

(休学の期間)

第54条 休学期間については、次のとおりとする。

- (1) 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は1年以内を限度として休学の期間の延長を認めることができる。
- (2) 休学期間は、通算して、2年を超えることができない。

2 前項に規定する休学期間は、第46条に規定する修業年限及び第47条に規定する在学年限に算入しない。

(留学)

第55条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学に留学することを許可することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第57条に定める在学期間に含まれることができる。

3 校長は、第52条第3項の規定により単位の修得を認定された学生(第4条第3項第4号の学生は除く。)について、学年の途中においても、課程の修了を認めることができる。

4 前3項に関し、必要な事項は別に定める。

(除籍)

第56条 次の各号のいずれかに該当する者は、校長がこれを除籍する。

- (1) 第47条に定める在学年限を超えた者
- (2) 第54条第1項に規定する休学期間を超えてなお復学できない者
- (3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 第20条第2項に規定する入学料免除及び徴収猶予の申請書を受理され、免除を不許可とされた者、半額免除の許可をされた者又は徴収猶予を許可された者で、所定の期日までに入学料を納付しない者
- (5) 長期間にわたり所在を確認できない者

2 授業料未納の者の修了は認めない。

#### 第5節 修了

(修了)

第57条 本校に2年(第23条の規定により入学した者については、第47条第2項により定められた年数)以上在学し、課程を修了した者には、校長は所定の修了証書を授与する。

(準用)

第58条 第18条、第19条、第20条、第23条、第27条、第32条、第34条、第38条、

第 40 条、第 43 条、第 44 条、第 45 条の規定は、専攻科に準用する。

#### 第 4 章 補則

##### 第 1 節 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

(研究生)

第 59 条 本校において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、校長は、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可する。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生及び特別聴講学生)

第 60 条 本校所定の授業科目のうち 1 科目又は複数科目の履修を志願する者があるときは、校長は、教育研究に支障がないと認められる場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可する。

2 前項の規定により入学を許可され、授業科目を履修する者に対し、単位の修得を認定することができる。

3 第 1 項の規定にかかわらず、他の高等専門学校又は大学の学生で、本校との単位互換協定に基づき、本校の授業科目の履修を志願する者があるときは、校長は、教育研究に支障がないと認められる場合に限り、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

4 科目等履修生及び特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第 61 条 外国人留学生として本校に入学を志願する者がある場合には、選考の上、入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

##### 第 2 節 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(検定料)

第 62 条 入学を志望する者は、願書提出と同時に国立高等専門学校の授業料その他の費用に関する省令（平成 16 年文部科学省令第 17 号）に基づき独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「高専機構」という。）が定める検定料を納付しなければならない。

(入学料)

第 63 条 入学料は、高専機構が定める額とする。

2 連携教育プログラムを履修する場合は、別に定める。

(授業料)

第 64 条 学生は高専機構が定める授業料を前期及び後期の 2 期に区分して納付するものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の 2 分の 1 に相当する額とする。

2 前項の授業料は、前期にあつては 4 月に、後期にあつては 10 月に納付するものとする。ただし、入学年度の前期に係る授業料は、入学を許可されたときに納付することができる。

3 前 2 項の規定にかかわらず、学生の申出があつたときは、前期に係る授業料を納付するとき

に、当該年度の後期に係る授業料を併せて納付することができる。

4 前3項の規定にかかわらず、連携教育プログラムを履修する場合は、別に定める。

(学年の途中において入学した者の授業料)

第65条 学年の途中において入学した者が前期又は後期において納付する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額に入学の日の属する月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、入学の日の属する月に納付するものとする。

2 学年の途中において復学、転入、編入学又は再入学（以下「復学等」という。）をした者が前期又は後期において納付する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額に復学等の日の属する月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等の日の属する月に納付するものとする。

(学年の途中において退学する者の授業料)

第66条 学年の途中において退学する者は、退学する日の属する時期が前期であるときは授業料の年額の2分の1に相当する額の授業料を、退学する日の属する時期が後期であるときは授業料の年額に相当する額の授業料を、それぞれ納付するものとする。

(寄宿料)

第67条 学寮に入寮している学生は、入寮した日の属する月から退寮する日の属する月までの間、高専機構に定める寄宿料を納付するものとする。

(検定料等の返還)

第68条 既納の検定料、入学料、授業料及び寄宿料は、返還しない。ただし、第64条第2項ただし書の規定により授業料を納付した者が3月31日までに入学辞退を申し出た場合には、当該授業料相当額を返還する。

(入学料、授業料及び寄宿料の免除等)

第69条 入学前1年以内において入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない事由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額若しくは半額を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

2 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる場合又は休学、死亡その他やむを得ない事情があると認められる場合には、授業料の全部、若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

3 風水害等の災害を受けたことにより、寄宿料の納付が困難であると認められる場合には、寄宿料の全額を免除することがある。

4 前3項に関し、必要な事項は別に定める。

### 第3節 公開講座等

(公開講座)

第70条 本校の教育を広く社会に回報し、文化の向上に資するため、本校に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

(履修証明書を交付する特別の課程)

第71条 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）の定めるところにより、本校の学生以外の者を対象とした特別の課程を修了した者に対し、履修証明書を交付することができる。

2 特別の課程及び履修証明書に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この学則の規定にかかわらず、平成15年度以前に入学した者は、当該入学者の年度における鈴鹿工業高等専門学校学則の定めるところによる。

附 則

この学則は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年1月17日から施行し、平成16年12月16日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年5月9日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年6月6日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年2月6日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

2 第4学年の法学Ⅰ及び法学Ⅱについては、平成18年度のみ開設するものとする。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年2月6日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 19 年 5 月 7 日から施行し、平成 19 年 4 月 1 日から適用する。

## 附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 19 年度以前の入学者については、改正後の学則別表第 1 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

## 附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 20 年 9 月 8 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 21 年 1 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度以前専攻科入学生については、改正後の第 4 条及び別表第 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

## 附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和5年6月7日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和5年10月4日から施行する。

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

学科名 一般科目 (機械工学科・電気電子工学科・電子情報工学科・材料工学科)

(令和2, 令和3年度入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	人文社会	国語 I A	2	2					留学生以外
		国語 I B	1	1					
		国語 II	2		2				
		日本文学	2			2			
		歴史 I	2	2					
		歴史 II	1		1				
		現代社会 I	1	1					
		現代社会 II	2		2				
		現代社会 III	1		1				
		日本語教育 I A	2			2			
	基礎数学 A	4	4						
	基礎数学 B	2	2						
	線形代数 I	2		2					
	線形代数 II	* 2			2				
	微積分 I	4		4					
	微積分 II	4			4				
	確率統計	* 2				2			
	物理 I	2	2						
	物理 II	2		2					
	物理 III	1			1				
	物理 IV	* 4				4			
	化学	4	2	2					
	地球生命科学	2		2					
	外国語	英語 I A	4	4					
		英語 I B	2	2					
		英語 II A	2		2				
		英語 II B	2		2				
		英語 III	* 2			2			
		英語特講	* 2			2			
		実践英語 I	2				2		
保健	8	2	2	2	2				
技術者倫理入門	1				1				
小計	74	24	24	15	11				
選択科目	美音	1	1					同時開講 後期実施	
	音楽	1	1						
	デザイン基礎	1		1				同時開講 前期実施	
	言語表現学	* 2			2				
	歴史学特講 I	* 2			2				
	技術経営 I	* 2			2			同時開講 後期実施	
	数学特講 II	* 2			2				
	経済学	* 2				2		同時開講 前期実施	
	社会実践英語 II A	* 2			2				
	社会実践英語 II B	* 2			2				
	中国語 I	* 2			2			同時開講 後期実施	
	中心哲学	* 2			2				
	実践英語 II C	* 2			2				
	コミュニケーション英語 II	* 2			2				
	中国語 II	* 2			2				
	コミュニケーション英語 I	* 2				2		専門科目「機械要素」と3科目同時開講 前期実施	
	現代科学 I 講	* 2			2				
	現代科学 II	* 2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
	現代科学 III 講	* 2				2			
	日本語教育 I B	1			1			留学生のみ	
	日本語教育 II	1				1			
	海外語学実習	5	1	1	1	1	1		
	長期海外インターシップ A	4					4		
小計	25	2	2	1	11	9			
一般科目開設単位数	99	26	26	16	22	9			
一般科目総開設単位数	137	28	26	19	37	27			

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)

学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 一般科目 (機械工学科・電気電子工学科・電子情報工学科・材料工学科)

(令和4年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	人文社会	国語 I A	2	2					留学生以外
		国語 I B	1	1					
		国語 II	2		2				
		日本文学	2			2			
		歴史 I	2	2					
		歴史 II	1		1				
		現代社会 I	1	1					
		現代社会 II	2		2				
		現代社会 III	1		1				
		日本語教育 I	2			2			
	自然科学	基礎数学 A	4	4					
		基礎数学 B	2	2					
		線形代数 I	2		2				
		線形代数 II	* 2			2			
		微積分 I	4		4				
		微積分 II	4			4			
		確率統計	* 2				2		
		物理 I	2	2					
		物理 II	2		2				
		物理 III	1			1			
	外国語	物理 IV	* 4				4		
		化学	4	2	2				
		地球生命科学	2		2				
		英語 I A	4	4					
		英語 I B	2	2					
		英語 II A	2		2				
		英語 II B	2		2				
		英語 III	* 2			2			
		英語特講	* 2			2			
		実践英語 I	2				2		
	保健	8	2	2	2	2			
	技術者倫理入門	1					1		
小計	74	24	24	15	11				
選択科目	美音	1	1					同時開講	
	音楽	1	1					同時開講	
	書道	1	1					同時開講	
	デザイン基礎	1		1					
	言語表現	* 2				2		同時開講	
	歴史学	* 2				2		同時開講	
	数学特講 I	* 2				2		同時開講	
	数学特講 II	* 2				2		同時開講	
	技術経営	* 2				2		同時開講	
	政治経済学	* 2				2		同時開講	
	社会実学	* 2				2	2	同時開講	
	実践英語 II A	* 2				2	2	同時開講	
	実践英語 II B	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 I	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 II	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 III	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 IV	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 V	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 VI	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 VII	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 VIII	* 2				2	2	同時開講	
	中国語 IX	* 2				2	2	同時開講	
中国語 X	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XL	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 XLIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 L	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LVIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXV	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXVIII	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXIX	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXI	* 2				2	2	同時開講		
中国語 LXXXXXXXII	* 2				2	2			

## 学科名 一般科目(機械工学科・電気電子工学科・電子情報工学科・材料工学科)

(令和5年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必 修 科 目	国語 I A	2	2					留学生以外
	国語 I B	1	1					
	国語 II	2		2				
	日本文学	2			2			
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	1		1				
	現代社会 I	1	1					
	現代社会 II	2		2				
	現代社会 III	1		1				留学生のみ
	日本語教育 I A	2			2			
	基礎数学 A	4	4					
	基礎数学 B	2	2					
	線形代数 I	2		2				
	線形代数 II *	2			2			
	微分積分 I	4		4				
	微分積分 II	4			4			
	確率統計 *	2				2		
	物理 I	2	2					
	物理 II	2		2				
	物理 III	1			1			
	物理 IV *	4				4		
	化学	4	2	2				
	地球生命科学	2		2				
	英語 I A	4	4					
	英語 I B	2	2					
	英語 II A	2		2				
	英語 II B	2		2				
	英語 III *	2			2			
	英語特講 *	2			2			
	実践英語 I	2				2		
	保健体育	8	2	2	2	2		
	技術者倫理入門	1				1		
	情報処理 I	1	1					
情報セキュリティ概論	1	1						
情報処理 II	1		1					
データサイエンス概論	1			1				
小計		78	26	25	16	11		
選 択 科 目	美術	1	1					同時開講
	音楽	1	1					
	書道	1	1					
	デザイン基礎	1		1				同時開講
	言語表現学 *	2			2			
	歴史学概論 *	2			2			
	数学特講 I *	2			2			同時開講
	法学 *	2			2			
	技術経営 *	2			2			
	数学特講 II *	2			2			同時開講
	人文・社会科学 I *	2				2		
	人文・社会科学 II *	2				2		
	実践英語 II A *	2				2		
	実践英語 II B *	2				2		
	中国語 I *	2				2		
	文学概論 *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 III *	2				2		
	人文・社会科学 IV *	2				2		
	実践英語 II C *	2				2		
	コミュニケーション英語 II *	2				2		
	中国語 II *	2				2		
	コミュニケーション英語 I *	2				2		専門科目「機械要素」と3科目同時開講 前期実施
	現代科学 I *	2				2		
物理学特講 *	2				2			
現代科学 II *	2				2			
現代科学 III *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講-後期実施	
化学特講 *	2				2			
日本語教育 I B	1			1			留学生のみ	
日本語教育 II	1				1			
海外語学実習	5	1	1	1	1	1	留学生のみ	
長期海外インターンシップ A	4					4		
小計		25	2	2	1	11	9	
一般科目開設単位数		103	28	27	17	22	9	
一般科目総開設単位数		141	30	27	20	37	27	

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 一般科目(機械工学科・電気電子工学科・電子情報工学科・材料工学科)

(令和5年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必 修 科 目	国語 I A	2	2					留学生以外	
	国語 I B	1	1						
	国語 II	2		2					
	日本文学	2			2				
	歴史 I	2	2						
	歴史 II	1		1					
	現代社会 I	1	1						
	現代社会 II	2		2					
	現代社会 III	1		1				留学生のみ	
	日本語教育 I A	2			2				
	基礎数学 A	4	4						
	基礎数学 B	2	2						
	線形代数 I	2		2					
	線形代数 II *	2			2				
	微分積分 I	4		4					
	微分積分 II	4			4				
	確率統計 *	2				2			
	物理 I	2	2						
	物理 II	2		2					
	物理 III	1			1				
	物理 IV *	4				4			
	化学	4	2	2					
	地球生命科学	2		2					
	英語 I A	4	4						
	英語 I B	2	2						
	英語 II A	2		2					
	英語 II B	2		2					
	英語 III *	2			2				
	英語特講 *	2			2				
	実践英語 I	2				2			
	保健体育	8	2	2	2	2			
	技術者倫理入門	1				1			
	情報処理 I	1	1						
	情報セキュリティ概論	1	1						
	情報処理 II	1		1					
	データサイエンス概論	1			1				
	小計	78	26	25	16	11			
	選 択 科 目	美術	1	1					同時開講
		音楽	1	1					
		書道	1	1					
		デザイン基礎	1		1				同時開講
		言語表現学 *	2			2			
		歴史学概論 *	2			2			
		数学特講 I *	2			2			
		法学 *	2			2			同時開講
		技術経営 *	2			2			
		数学特講 II *	2			2			
人文・社会科学 I *		2				2		同時開講	
人文・社会科学 II *		2				2			
実践英語 II A *		2				2			
実践英語 II B *		2				2			
中国語 I *		2				2		同時開講	
文学概論 *		2				2			
人文・社会科学 III *		2				2			
人文・社会科学 IV *		2				2			
実践英語 II C *		2				2			
コミュニケーション英語 II *		2				2			
中国語 II *		2				2			
コミュニケーション英語 I *		2				2			
現代科学 I *		2				2		専門科目「機械要素」と3科目同時開講 前期実施	
物理学特講 *	2				2				
現代科学 II *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講-後期実施		
現代科学 III *	2				2				
化学特講 *	2				2				
日本語教育 I B	1			1			留学生のみ		
日本語教育 II	1				1				
海外語学実習	5	1	1	1	1	1	留学生のみ		
長期海外インターンシップA	4					4			
小計	25	2	2	1	11	9			
一般科目開設単位数	103	28	27	17	22	9			
一般科目総開設単位数	141	30	27	20	37	27			

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 一般科目(機械工学科・電気電子工学科・電子情報工学科・材料工学科)

(令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語 I A	2	2					留学生以外
	国語 I B	1	1					
	国語 II	2		2				
	日本文学	2			2			
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	1		1				
	現代社会 I	1	1					
	現代社会 II	2		2				
	現代社会 III	1		1				
	日本語教育 I A	2			2			
	基礎数学 A	4	4					
	基礎数学 B	2	2					
	線形代数 I	2		2				
	線形代数 II *	2			2			
	微分積分 I	4		4				
	微分積分 II	4			4			
	確率統計 *	2				2		
	物理 I	2	2					
	物理 II	2		2				
	物理 III	1			1			
	物理 IV *	4				4		
	化学	4	2	2				
	地球生命科学	2		2				
	英語 I A	4	4					
	英語 I B	2	2					
	英語 II A	2		2				
	英語 II B	2		2				
	英語 III *	2			2			
	英語特講 *	2			2			
	実践英語 I	2				2		
保健体育	8	2	2	2	2			
技術者倫理入門	1				1			
情報	情報処理 I	1	1					
	情報セキュリティ概論	1	1					
	情報処理 II	1		1				
	データサイエンス概論	1			1			
小計		78	26	25	16	11		
選択科目	美術	1	1					同時開講
	音楽	1	1					
	書道	1	1					
	デザイン基礎	1		1				同時開講
	言語表現学 *	2				2		
	歴史学概論 *	2				2		
	数学特講 I *	2				2		同時開講
	法社会学 *	2				2		
	技術経営 *	2				2		
	数学特講 II *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 I *	2				2		
	人文・社会科学 II *	2				2		
	実践英語 II A *	2				2		同時開講
	実践英語 II B *	2				2		
	中国語 I *	2				2		
	文学概論 *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 III *	2				2		
	人文・社会科学 IV *	2				2		
	実践英語 II C *	2				2		同時開講
	コミュニケーション英語 II *	2				2		
	中国語 II *	2				2		
	コミュニケーション英語 I *	2				2		専門科目「機械要素」と3科目同時開講 前期実施
現代科学 I *	2				2			
物理学特講 *	2				2			
現代科学 II *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
現代科学 III *	2				2			
化学特講 *	2				2			
日本語教育 I B	1			1			留学生のみ	
日本語教育 II	1				1		留学生のみ	
海外語学実習	5	1	1	1	1	1		
長期海外インターンシップA	4					4		
小計		25	2	2	1	11	9	
一般科目開設単位数		103	28	27	17	22	9	
一般科目総開設単位数		141	30	27	20	37	27	

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 一般科目 (生物応用化学科)

(令和2, 令和3年度入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	人文社会	国語 I A	2	2					留学生以外
		国語 I B	1	1					
		国語 II	2		2				
		日本文学	2			2			
		歴史 I	2	2					
		歴史 II	1		1				
		現代社会 I	1	1					
		現代社会 II	2		2				
		現代社会 III	1		1				
	自然科学	日本語教育 I A	2			2			留学生のみ
		基礎数学 A	4	4					
		基礎数学 B	2	2					
		線形代数 I	2		2				
		線形代数 II *	2			2			
		微分積分 I	4		4				
		微分積分 II	4			4			
		確率統計 *	2				2		
		物理 I	2	2					
	物理 II	2		2					
	物理 III	1			1				
	物理 IV *	4				4			
	化学	4	3	1					
	地球生命科学	2		2					
	外国語	英語 I A	4	4					
		英語 I B	2	2					
		英語 II A	2		2				
		英語 II B	2		2				
英語 III *		2			2				
英語特講 *		2			2				
保健	実践英語 I	2				2			
	健康体育	8	2	2	2	2			
技術者倫理入門	1				1				
小計		74	25	23	15	11			
選択科目	美術	1	1					同時開講 後期実施	
	音楽	1	1						
	書道	1	1						
	デザイン基礎	1		1					
	言語表現 *	2				2			
	歴史学特講 *	2				2			
	数学特講 *	2				2			
	技術経営 *	2				2		同時開講 後期実施	
	数学特講 *	2				2			
	経済社会学 *	2					2		
	社会実践英語 II A *	2					2	前期実施	
	社会実践英語 II B *	2					2		
	中国語 I *	2					2		
	文学概論 *	2					2		
	心理学 *	2					2		
	哲学 *	2					2		
	実践英語 II C *	2					2	同時開講 後期実施	
	コミュニケーション英語 II *	2					2		
	中国語 II *	2					2		
	コミュニケーション英語 I *	2					2		
	現代科学特講 *	2				2		専門科目「機械要素」と3科目同時開講 前期実施	
	現代科学 II *	2				2			
	現代科学 III *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
	現代科学特講 *	2				2			
	日本語教育 I B	1			1			留学生のみ 留学生のみ	
	日本語教育 II	1				1			
	海外語学実習	5	1	1	1	1	1		
長期海外インターシップA	4					4			
小計		25	2	2	1	11	9		
一般科目開設単位数		99	27	25	16	22	9		
一般科目総開設単位数		137	29	25	19	37	27		

\*は学則第26条第3項による授業科目 (学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 一般科目 (生物応用化学科)

(令和4年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	人文社会	国語 I A	2	2					留学生以外
		国語 I B	1	1					
		国語 II	2		2				
		日本文学	2			2			
		歴史 I	2	2					
		歴史 II	1		1				
		現代社会 I	1	1					
		現代社会 II	2		2				
		現代社会 III	1		1				
		日本語教育 I A	2			2			
	自然科学	基礎数学 A	4	4					
		基礎数学 B	2	2					
		線形代数 I	2		2				
		線形代数 II	*	2		2			
		微積分 I	4		4				
		微積分 II	4			4			
		確率統計	*	2			2		
		物理 I	2	2					
		物理 II	2		2				
		物理 III	1			1			
	外国語	物理解	4				4		
		物理解 IV	*	4					
		化学	4	3	1				
		地球生命科学	2		2				
		英語 I A	4	4					
		英語 I B	2	2					
		英語 II A	2		2				
		英語 II B	2		2				
		英語 III	*	2		2			
		英語特講	*	2		2			
	保健	実践英語 I	2				2		
		体育	8	2	2	2	2		
技術	倫理	1				1			
	入門	1				1			
小計		74	25	23	15	11			
選択科目	美術	1	1					同時開講	
	音楽	1	1					同時開講	
	書道	1	1					同時開講	
	デザイン基礎	1		1					
	言語表現	*	2			2			
	歴史学特講	*	2			2			
	数学特講	*	2			2			
	法技術経営	*	2			2		同時開講	
	政治経済	*	2			2			
	社会学	*	2			2	2		
	実践英語 II A	*	2			2		同時開講	
	実践英語 II B	*	2			2		同時開講	
	中国語 I	*	2			2			
	文学概論	*	2			2			
	心理学	*	2			2		同時開講	
	実践英語 II C	*	2			2		同時開講	
	コミュニケーション英語 II	*	2			2			
	中国語 II	*	2			2			
	コミュニケーション英語 I	*	2			2			
	現代科学特講 I	*	2			2		専門科目「機械要素」と3科目同時開講 前期実施	
	現代科学特講 II	*	2			2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
	現代科学特講 III	*	2			2			
現代科学特講 IV	*	2			2				
日本語教育 I B	1			1			留学生のみ		
日本語教育 II	1				1		留学生のみ		
海外語学実習	5	1	1	1	1	1			
長期海外インターシップA	4					4			
小計		25	2	2	1	11	9		
一般科目開設単位数		99	27	25	16	22	9		
一般科目総開設単位数		137	29	25	19	37	27		

\*は学則第26条第3項による授業科目 (学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 一般科目(生物応用化学科)

(令和5年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語 I A	2	2					留学生以外
	国語 I B	1	1					
	国語 II	2		2				
	日本文学	2			2			
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	1		1				
	現代社会 I	1	1					
	現代社会 II	2		2				
	現代社会 III	1		1				
	日本語教育 I A	2			2			留学生のみ
	基礎数学 A	4	4					
	基礎数学 B	2	2					
	線形代数 I	2		2				
	線形代数 II *	2			2			
	微分積分 I	4		4				
	微分積分 II	4			4			
	確率統計 *	2				2		
	物理 I	2	2					
	物理 II	2		2				
	物理 III	1			1			
	物理 IV *	4				4		
	化学	4	3	1				
	地球生命科学	2		2				
	英語 I A	4	4					留学生のみ
	英語 I B	2	2					
	英語 II A	2		2				
	英語 II B	2		2				
	英語 III *	2			2			
	英語特講 *	2			2			
	実践英語 I	2				2		
	保健体育	8	2	2	2	2		留学生のみ
	技術者倫理入門	1				1		
	情報処理 I	1	1					
情報セキュリティ概論	1	1						
情報処理 II	1		1				留学生のみ	
データサイエンス概論	1			1				
小計		78	27	24	16	11		
選択科目	美術	1	1					同時開講
	音楽	1	1					
	書道	1	1					
	デザイン基礎	1		1				同時開講
	言語表現学 *	2			2			
	歴史学概論 *	2			2			
	数学特講 I *	2			2			
	法学 *	2			2			同時開講
	技術経営 *	2			2			
	数学特講 II *	2			2			
	人文・社会科学 I *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 II *	2				2		
	実践英語 II A *	2				2		
	実践英語 II B *	2				2		同時開講
	中国語 I *	2				2		
	文学概論 *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 III *	2				2		
	人文・社会科学 IV *	2				2		
	実践英語 II C *	2				2		
	コミュニケーション英語 II *	2				2		
	中国語 II *	2				2		
	コミュニケーション英語 I *	2				2		
	現代科学 I *	2				2		専門科目「電気電子要素」3科目同時開講 前期実施
物理学特講 *	2				2			
現代科学 II *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
現代科学 III *	2				2			
化学特講 *	2				2		留学生のみ	
日本語教育 I B	1			1				
日本語教育 II	1				1		留学生のみ	
海外語学実習	5	1	1	1	1	1		
長期海外インターンシップA	4					4		
小計		25	2	2	1	11	9	
一般科目開設単位数		103	29	26	17	22	9	
一般科目総開設単位数		141	31	26	20	37	27	

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 一般科目(生物応用化学科)

(令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語 I A	2	2					留学生以外
	国語 I B	1	1					
	国語 II	2		2				
	日本文学	2			2			
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	1		1				
	現代社会 I	1	1					
	現代社会 II	2		2				
	現代社会 III	1		1				
	日本語教育 I A	2			2			
	基礎数学 A	4	4					
	基礎数学 B	2	2					
	線形代数 I	2		2				
	線形代数 II *	2			2			
	微分積分 I	4		4				
	微分積分 II	4			4			
	確率統計 *	2				2		
	物理 I	2	2					
	物理 II	2		2				
	物理 III	1			1			
	物理 IV *	4				4		
	化学	4	3	1				
	地球生命科学	2		2				
	英語 I A	4	4					
	英語 I B	2	2					
	英語 II A	2		2				
	英語 II B	2		2				
	英語 III *	2			2			
	英語特講 *	2			2			
	実践英語 I	2				2		
保健体育	8	2	2	2	2			
技術者倫理入門	1				1			
情報	情報処理 I	1	1					
	情報セキュリティ概論	1	1					
	情報処理 II	1		1				
	データサイエンス概論	1			1			
小計		78	27	24	16	11		
選択科目	美術	1	1					同時開講
	音楽	1	1					
	書道	1	1					
	デザイン基礎	1		1				同時開講
	言語表現学 *	2				2		
	歴史学概論 *	2				2		
	数学特講 I *	2				2		
	技術経営 *	2				2		同時開講
	数学特講 II *	2				2		
	人文・社会科学 I *	2				2		
	人文・社会科学 II *	2				2		
	実践英語 II A *	2				2		同時開講
	実践英語 II B *	2				2		
	中国語 I *	2				2		
	文学概論 *	2				2		
	人文・社会科学 III *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 IV *	2				2		
	実践英語 II C *	2				2		
	コミュニケーション英語 II *	2				2		
	中国語 II *	2				2		同時開講
	コミュニケーション英語 I *	2				2		
	現代科学 I *	2				2		
物理学特講 *	2				2			
現代科学 II *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
現代科学 III *	2				2			
化学特講 *	2				2			
日本語教育 I B	1			1				留学生のみ
日本語教育 II	1				1			
海外語学実習	5	1	1	1	1	1	留学生のみ	
長期海外インターンシップA	4					4		
小計		25	2	2	1	11	9	
一般科目開設単位数		103	29	26	17	22	9	
一般科目総開設単位数		141	31	26	20	37	27	

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (機械工学科)

(令和2、3年度入学)

区分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	応 用 数 学	2				2		
	工 学 基 礎 実 験	1	1					
	機 械 工 作 法	1		1				
	機 械 設 計 基 礎	1		1				
	機 械 工 作 実 習	4	4					
	機 械 工 学 実 習	2		2				
	総 合 実 習	4			4			
	創 造 工 学	2				2		
	情 報 処 理 I	1	1					
	情 報 処 理 II	1		1				
	情 報 セキュリティ概論	1			1			
	数 値 解 析 *	2					2	
	メカトロニクス演習	4			4			
	材 料 力 学 I	2			2			
	材 料 力 学 II *	2				2		
	熱・流体工学基礎	2			2			
	熱 力 学	2				2		
	水 力 学	2				2		
	機 械 運 動 学 I	1		1				
	機 械 運 動 学 II *	2			2			
	機 械 設 計 法 *	2				2		
	機 械 力 学	2				2		
	材 料 学 *	2				2		
	弾・塑性学 *	2					2	
	生 産 シ ス テ ム *	2					2	
	電 気 ・ 電 子 回 路	2			2			
	アクトチュエータ工学 *	2				2		
制 御 工 学 *	2				2			
機 械 製 図 I	2	2						
機 械 製 図 II	1		1					
機 械 設 計 製 図 I	2			2				
機 械 設 計 製 図 II	2				2			
機 械 設 計 製 図 III	2					2		
機 械 工 学 実 験	4					4		
卒 業 研 究 I	2					2		
卒 業 研 究 II	10					10		
小 計	80	8	7	19	24	22		
選択必修科目	熱 工 学 *	2				2	2 単位以上修得	
	ロ ボ ッ ト 工 学 *	2				2		
	流 体 工 学 *	2				2	2 単位以上修得	
	計 測 工 学 *	2				2		
	小 計	8				8		
選択科目	ロ ボ ッ ト デ ザ イ ン 論	1			1			
	電 気 電 子 要 素 *	2				2	(後期)教養科目「現代科学Ⅰ」「現代科学Ⅲ」「化学特講」と4科目同時開講	
	環 境 工 学 序 論 *	2				2		
	機 能 材 料 *	2				2	(前期)同時開講	
	基 礎 組 込 み シ ス テ ム *	2				2		
	環 境 工 学 総 論 *	2				2	(後期)専門科目「基礎メカトロニクス」と3科目同時開講	
	電 気 エ ネ ル ギ ー 総 論 *	2				2		
	特 別 講 義	1～4				1～4	集中講義又はeラーニング	
	創 造 工 学 演 習	5	1	1	1	1	1	
	イ ン タ ー シ ッ プ	3		1		1	1	
	長 期 海 外 イ ン タ ー シ ッ プ B	7					7	
小 計	21～26	1	1	2	4	13		
専 門 科 目 開 設 単 位 数	109～114	9	8	21	28	43		
一 般 科 目 開 設 単 位 数	99	26	26	16	22	9		
開 設 単 位 数 合 計	208～213	35	34	37	50	52		
			1		1～4			

修 得 単 位 数	167以上	134単位以上	
		167単位以上 (専門科目82単位以上)	

課 題 研 究 別に定める

\*の3年、4年、5年は学則第26条第3項による授業科目 (学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (機械工学科)

(令和4年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	応用数学	2				2		
	工学基礎実験	1	1					
	機械工作法	1		1				
	機械設計基礎	1		1				
	機械工作実習	4	4					
	機械工学実習	2		2				
	総合実習	4			4			
	創造工学	2				2		
	情報処理Ⅰ	1	1					
	情報処理Ⅱ	1		1				
	情報セキュリティ概論	1			1			
	数値解析*	2					2	
	メカトロニクス演習	4			4			
	材料力学Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅱ*	2				2		
	熱・流体工学基礎	2			2			
	熱力学	2				2		
	水力学	2				2		
	機械運動学Ⅰ	1		1				
	機械運動学Ⅱ*	2			2			
	機械設計法*	2				2		
	機械力学	2				2		
	材料学*	2				2		
	弾・塑性学*	2					2	
	生産システム*	2					2	
	電気・電子回路	2			2			
アクチュエータ工学*	2				2			
制御工学*	2				2			
機械製図Ⅰ	2	2						
機械製図Ⅱ	1		1					
機械設計製図Ⅰ	2			2				
機械設計製図Ⅱ	2				2			
機械設計製図Ⅲ	2					2		
機械工学実験	2					2		
卒業研究Ⅰ	2					2		
卒業研究Ⅱ	10						10	
小計	78	8	7	19	24	20		
選択必修科目	熱工学*	2					2	2単位以上修得
	ロボット工学*	2					2	
	流体工学*	2					2	2単位以上修得
	計測工学*	2					2	
	小計	8					8	
選択科目	ロボットデザイン論	1			1			
	電気電子要素*	2				2		(後期)教養科目「現代科学Ⅱ」「現代科学Ⅲ」「化学特講」と4科目同時開講
	環境工学序論*	2					2	
	機能材料*	2					2	(前期)同時開講
	基礎組込みシステム*	2					2	
	環境工学総論*	2					2	(後期)専門科目「基礎メカトロニクス」と3科目同時開講
	電気エネルギー総論*	2					2	
	特別講義	1~4					1~4	集中講義又はeラーニング
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	3		1			1	1
	長期海外インターンシップB	7						7
小計	23~26	1	1	2	4	13	1~4	
専門科目開設単位数	109~112	9	8	21	28	41		
一般科目開設単位数	99	26	26	16	22	9		
開設単位数合計	208~211	35	34	37	50	50		
			1			1~4		

修得単位数	167以上	134単位以上				
		167単位以上 (専門科目82単位以上)				

課題研究 別に定める

\*の3年, 4年, 5年は学則第26条第3項による授業科目 (学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 専門科目 (機械工学科) (令和5年度以降入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応 用 数 学	2				2		
	工 学 基 礎 実 験	1	1					
	機 械 工 作 法	1		1				
	機 械 設 計 基 礎	1		1				
	機 械 工 作 実 習	4	4					
	機 械 工 学 実 習	2		2				
	総 合 実 習	4			4			
	創 造 工 学	2				2		
	数 値 解 析 *	2					2	
	メカトロニクス演習	4			4			
	材 料 力 学 I	2			2			
	材 料 力 学 II *	2				2		
	熱・流体工学基礎 *	2			2			
	熱 力 学	2				2		
	水 力 学	2				2		
	機 械 運 動 学 I	1		1				
	機 械 運 動 学 II *	2			2			
	機 械 設 計 法 *	2				2		
	機 械 力 学	2				2		
	材 料 学 *	2				2		
	弾 ・ 塑 性 学 *	2					2	
	生 産 シ ス テ ム *	2					2	
	電 気 ・ 電 子 回 路	2			2			
	ア ク チ ュ エ ー タ 工 学 *	2				2		
	制 御 工 学 *	2				2		
	機 械 製 図 I	2	2					
	機 械 製 図 II	1		1				
	機 械 設 計 製 図 I	2			2			
	機 械 設 計 製 図 II	2				2		
	機 械 設 計 製 図 III *	4					4	
機 械 工 学 実 験	4					4		
卒 業 研 究 I	2				2			
卒 業 研 究 II	10					10		
小 計	79	7	6	18	24	24		
選択必修科目	熱 工 学 *	2				2	2単位以上修得	
	ロ ボ ッ ト 工 学 *	2				2		
	流 体 工 学 *	2				2	2単位以上修得	
	計 測 工 学 *	2				2		
	小 計	8				8		
選択科目	ロ ボ ッ ト デ ザ イ ン 論	1			1			
	電 気 電 子 要 素 *	2				2	(後期)教養科目「現代科学Ⅱ」「現代科学Ⅲ」「化学特講」と4科目同時開講	
	環 境 工 学 序 論 *	2				2		
	機 能 材 料 *	2				2	(前期) 同時開講	
	基 礎 組 込 み シ ス テ ム *	2				2		
	環 境 工 学 総 論 *	2				2	(後期)専門科目「基礎メカトロニクス」と3科目同時開講	
	電 気 エ ネ ル ギ ー 総 論 *	2				2		
	特 別 講 義	1~4				1~4	集中講義又はeラーニング	
	創 造 工 学 演 習	5	1	1	1	1	1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	3		1		1	1	
長 期 海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ B	7					7		
小 計	23~26	1	1	2	4	13		
専 門 科 目 開 設 単 位 数	110~113	8	7	20	28	45		
一 般 科 目 開 設 単 位 数	103	28	27	17	22	9		
開 設 単 位 数 合 計	213~216	36	34	37	50	54		
			1		1~4			

修 得 単 位 数	167 以上	134単位以上	
		167単位以上(専門科目82単位以上)	

課 題 研 究	別に定める
---------	-------

\*の3年, 4年, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 専門科目 (機械工学科) (令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学	2				2		
	工学基礎実験	1	1					
	機械工作法	1		1				
	機械設計基礎	1		1				
	機械工作実習	4	4					
	機械工学実習	2		2				
	総合実習	4			4			
	創造工学	2				2		
	数値解析*	2					2	
	メカトロニクス演習	4			4			
	材料力学Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅱ*	2				2		
	熱・流体工学基礎*	2			2			
	熱力学	2				2		
	水力学	2				2		
	機械運動学Ⅰ	1		1				
	機械運動学Ⅱ*	2			2			
	機械設計法*	2				2		
	機械力学	2				2		
	材料学*	2				2		
	弾・塑性学*	2					2	
	生産システム*	2					2	
	電気・電子回路	2			2			
	アクチュエータ工学*	2				2		
	制御工学*	2				2		
	機械製図Ⅰ	2	2					
	機械製図Ⅱ	1		1				
	機械設計製図Ⅰ	2			2			
機械設計製図Ⅱ	2				2			
機械設計製図Ⅲ*	4					4		
機械工学実験	4					4		
卒業研究Ⅰ	2				2			
卒業研究Ⅱ	10					10		
小計	79	7	6	18	24	24		
選択必修科目	熱工学*	2					2	2単位以上修得
	ロボット工学*	2					2	
	流体工学*	2					2	2単位以上修得
	計測工学*	2					2	
	小計	8					8	
選択科目	ロボットデザイン論	1			1			
	電気電子要素*	2				2		(後期)教養科目「現代科学Ⅱ」「現代科学Ⅲ」「化学特講」と4科目同時開講
	環境工学序論*	2					2	
	機能材料*	2					2	(前期)同時開講
	基礎組込みシステム*	2					2	
	環境工学総論*	2					2	(後期)専門科目「基礎メカトロニクス」と3科目同時開講
	電気エネルギー総論*	2					2	
	特別講義	1~4					1~4	集中講義又はeラーニング
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	3		1		1	1	
	長期海外インターンシップB	7					7	
	グローバル・アントレプレナーシップⅠ	2				2		開講しないことがある
	グローバル・アントレプレナーシップⅡ	2				2		開講しないことがある
	Special Lecture Series on Engineering	1			1			
Corporate Internship on Campus	1				1			
小計	35~38	1	1	3	5	13		
専門科目開設単位数	116~120	8	7	21	29	45		
一般科目開設単位数	103	28	27	17	22	9		
開設単位数合計	219~223	36	34	38	51	54		
			1		5~8			
修得単位数	167以上	134単位以上						
		167単位以上(専門科目82単位以上)						
課題研究	別に定める							

\*の3年, 4年, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 専門科目 (電気電子工学科)

(令和5年度以降入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必 修 科 目	応 用 数 学 I	2				2		
	応 用 数 学 II *	2					2	
	電 気 電 子 製 図	2		1	1			
	電 気 磁 気 学 I	2			2			
	電 気 磁 気 学 II	2				2		
	電 気 回 路 I	2		2				
	電 気 回 路 II	2			2			
	電 気 回 路 III	2				2		
	電 気 電 子 計 測	2			2			
	電 子 回 路 I	2			2			
	電 子 回 路 II *	2				2		
	デ ィ ジ タ ル 回 路 I *	2				2		
	デ ィ ジ タ ル 回 路 II *	2					2	
	電 子 物 性 基 礎 I *	2				2		
	電 子 物 性 基 礎 II *	2				2		
	電 気 電 子 材 料 *	2				2		
	半 導 体 工 学 *	2					2	
	計 算 機 シ ス テ ム *	2					2	
	電 子 制 御 基 礎	1			1			
	制 御 シ ス テ ム *	2					2	
	電 気 機 器	3			1	2		
	発 変 電 工 学 *	2				2		
	電 力 シ ス テ ム 工 学 *	2					2	
	情 報 通 信 工 学 *	2					2	
	ハ ー ウ エ レ ク ト ロ ニ ク ス *	2					2	
	も の づ く り 実 習	2	2					
	電 気 電 子 工 学 演 習	1			1			
	創 造 工 学	2				2		
	工 学 基 礎 実 験	1	1					
	電 気 電 子 工 学 実 験	14		4	4	2	4	
卒 業 研 究 I	1				1			
卒 業 研 究 II	10					10		
小 計	81	3	7	16	25	30		
電 気 法 規 *	2				2			
電 気 電 子 応 用 *	2					2		
ロ ボ ッ ト デ ザ イ ン 論	1			1				
機 械 要 素 *	2				2		(前期)教養科目「現代科学 I」「物理学特講」と3科目同時開講	
環 境 工 学 序 論 *	2					2	(前期) 同時開講	
機 能 材 料 *	2					2		
基 礎 組 込 み シ ス テ ム *	2					2		
環 境 工 学 総 論 *	2					2	(後期) 同時開講	
電 気 エ ネ ル ギ ー 総 論 *	2					2		
基 礎 メ カ ト ロ ニ ク ス *	2					2		
創 造 工 学 演 習	5	1	1	1	1	1		
イ ン タ ー ン シ ッ プ	3		1		1	1		
長 期 海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ B	7					7		
特 別 講 義	1~4				1~4		集中講義又はeラーニング	
小 計	27~30	1	1	1	6	15		
			1		1~4			
専 門 科 目 開 設 単 位 数	108~111	4	8	17	31	45		
			1		1~4			
一 般 科 目 開 設 単 位 数	103	28	27	17	22	9		
開 設 単 位 数 合 計	211~214	32	35	34	53	54		
			1		1~4			
修 得 単 位 数	167以上	134単位以上						
		167単位以上(専門82単位以上)						
課 題 研 究	別に定める							

\*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (電気電子工学科)

(令和2年度以降入学)

区分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	応 用 数 学 I	2				2		
	応 用 数 学 II *	2					2	
	電 気 電 子 製 図	2		1	1			
	情 報 処 理 I	1	1					
	情 報 処 理 II	1		1				
	情報セキュリティ概論	1			1			
	電 気 磁 気 学 I	2			2			
	電 気 磁 気 学 II	2				2		
	電 気 回 路 I	2		2				
	電 気 回 路 II	2			2			
	電 気 回 路 III	2				2		
	電 気 電 子 計 測	2			2			
	電 子 回 路 I	2			2			
	電 子 回 路 II *	2				2		
	デジタル回路I *	2				2		
	デジタル回路II *	2					2	
	電子物性基礎	2				2		
	電気電子材料 *	2				2		
	半 導 体 工 学 *	2					2	
	計算機システム *	2					2	
	電子制御基礎	1			1			
	制御システム *	2					2	
	電 気 機 器	3			1	2		
	発 変 電 工 学 *	2				2		
	電力システム工学 *	2					2	
	情報通信工学 *	2					2	
	ハードウェアエレクトロニクス *	2					2	
	ものづくり実習	2	2					
創 造 工 学	2					2		
工学基礎実験	1	1						
電気電子工学実験	14		4	4	2	4		
卒 業 研 究 I	1				1			
卒 業 研 究 II	10					10		
小 計	81	4	8	16	23	30		
選択科目	電気電子工学演習	1			1			
	電 気 法 規 *	2				2		
	電 気 電 子 応 用 *	2					2	
	ロボットデザイン論	1			1			
	機 械 要 素 *	2				2		(前期)教養科目「現代科学I」「物理学特講」と3科目同時開講
	環 境 工 学 序 論 *	2					2	
	機 能 材 料 *	2					2	(前期)同時開講
	基礎組込みシステム *	2					2	
	環 境 工 学 総 論 *	2					2	
	電気エネルギー総論 *	2					2	(後期)同時開講
	基礎メカトロニクス *	2					2	
	創 造 工 学 演 習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	3		1			1	1
長期海外インターンシップB	7						7	
特 別 講 義	1~4					1~4	集中講義又はeラーニング	
小 計	28~31	1	1	3	6	15		
			1			1~4		
専門科目開設単位数	109~112	5	9	19	29	45		
			1			1~4		
一般科目開設単位数	99	26	26	16	22	9		
開設単位数合計	208~211	31	35	35	51	54		
			1			1~4		

修 得 単 位 数	167以上	134単位以上	
		167単位以上 (専門82単位以上)	

課 題 研 究	別に定める
---------	-------

\*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 専門科目 (電気電子工学科)

(令和7年度入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	2				2		
	応用数学Ⅱ*	2					2	
	電気電子製図	2		1	1			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気磁気学Ⅱ	2				2		
	電気回路Ⅰ	2		2				
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電気回路Ⅲ	2				2		
	電気電子計測	2			2			
	電子回路Ⅰ	2			2			
	電子回路Ⅱ*	2				2		
	デジタル回路Ⅰ*	2				2		
	デジタル回路Ⅱ*	2					2	
	電子物性基礎Ⅰ*	2				2		
	電子物性基礎Ⅱ*	2				2		
	電気電子材料*	2				2		
	半導体工学*	2					2	
	計算機システム*	2					2	
	電子制御基礎	1			1			
	制御システム*	2					2	
	電気機器	3			1	2		
	発変電工学*	2				2		
	電力システム工学*	2					2	
	情報通信工学*	2					2	
	パワーエレクトロニクス*	2					2	
	ものづくり実習	2	2					
	電気電子工学演習	1			1			
創 造 工 学	2				2			
工学基礎実験	1	1						
電気電子工学実験	14		4	4	2	4		
卒業研究Ⅰ	1				1			
卒業研究Ⅱ	10					10		
小 計	81	3	7	16	25	30		
電気法規*	2				2			
電気電子応用*	2					2		
ロボットデザイン論	1			1				
機 械 要 素 *	2				2		(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」「物理学特講」と3科目同時開講	
環境工学序論*	2					2	(前期) 同時開講	
機能材料*	2					2		
基礎組込みシステム*	2					2		
環境工学総論*	2					2	(後期) 同時開講	
電気エネルギー総論*	2					2		
基礎メカトロニクス*	2					2		
創 造 工 学 演 習	5	1	1	1	1	1		
インターンシップ	3		1		1	1		
長期海外インターンシップB	7					7		
グローバル・アントレプレナーシップⅠ	2					2	開講しないことがある	
グローバル・アントレプレナーシップⅡ	2					2	開講しないことがある	
特 別 講 義	1~4					1~4	集中講義又はeラーニング*	
Special Lecture Series on Engineering	1			1				
Corporate Internship on Campus	1				1			
小 計	40~44	1	1	2	7	23		
			1			5~8		
専門科目開設単位数	121~124	4	8	18	32	53		
			1			5~8		
一般科目開設単位数	103	28	27	17	22	9		
開設単位数合計	224~227	32	35	35	54	62		
			1			5~8		
修 得 単 位 数	167以上	134単位以上						
		167単位以上(専門82単位以上)						
課 題 研 究	別に定める							

\*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (電子情報工学科)

(令和2年度, 令和3年度, 令和4年度入学)

区分	授業科目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	情報処理Ⅰ	1	1					
	プログラミングⅠ	1	1					
	マイクロコンピュータ基礎	1		1				
	電気電子基礎	2		2				
	プログラミングⅡ	1		1				
	プログラム設計	1		1				
	デジタル回路	2			2			
	オペレーティングシステム	2			2			
	データ構造とアルゴリズム	2			2			
	電子工学Ⅰ	2			2			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気回路論Ⅰ	2			2			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅱ	2				2		
	電気回路論Ⅱ	2				2		
	電子回路Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅰ	2				2		
	ソフトウェア工学	2				2		
	IoTシステム工学	* 2				2		
	情報通信ネットワーク	2			2			
	情報理論	2				2		
	制御工学	2				2		
	情報セキュリティ基礎	1				1		
情報数学	* 2					2		
計測工学	* 2					2		
工学基礎実験	1	1						
電子情報工学実験	11	2	4	4	1			
創造工学	2				2			
卒業研究Ⅰ	1				1			
卒業研究Ⅱ	10					10		
小計	67	5	9	19	20	14		
必修選択	データ工学	* 2					2	
	電子材料工学	* 2					2	
	小計	4	0	0	0	0	4	
選択科目	計算機工学	* 2				2		隔年開講
	集積回路工学	* 2				2		隔年開講
	マルチメディア工学	* 2				2		隔年開講
	人工知能	* 2				2		隔年開講
	電子工学Ⅱ	* 2					2	
	情報セキュリティ応用	* 2					2	
	応用数学Ⅱ	* 2					2	
	機械学習	* 2					2	
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	3		1			1	1
	長期海外インターンシップB	7						7
	ロボットデザイン論	1			1			
	機械要素	* 2				2		(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」「物理学特講」と3科目同時開講
	環境工学序論	* 2					2	(前期)専門科目「基礎組込みの応用」と3科目同時開講
	機械材料	* 2					2	
	環境工学総論	* 2					2	
電気エネルギー総論	* 2					2	(後期)同時開講	
基礎メカトロニクス	* 2					2		
特別講義	1~4					1~4	集中講義又はeラーニング	
小計	39~42		1	1	2	4	21	
			1			9~12		
専門科目開設単位数	110~113		6	10	21	24	39	
				1			9~12	
一般科目開設単位数	99		26	26	16	22	9	
開設単位数合計	209~212		32	36	37	46	48	
			1			9~12		

修得単位数	167以上	134単位以上	
		167単位以上 (専門科目82単位以上)	

課題研究	別に定める
------	-------

\*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目 (学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 専門科目 (電子情報工学科)

(令和5,6年度入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	プログラミング	2	2					
	マイクロコンピュータ基礎	1		1				
	電気電子基礎Ⅰ	1	1					
	電気電子基礎Ⅱ	1		1				
	プログラム設計	1		1				
	デジタル回路	2			2			
	オペレーティングシステム	2			2			
	データ構造とアルゴリズム	2			2			
	電子工学Ⅰ	2			2			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気回路論Ⅰ	2			2			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅱ*	2				2		
	電気回路論Ⅱ*	2				2		
	電子回路Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅰ	2				2		
	ソフトウェア工学	2				2		
	IoTシステム工学*	2				2		
	情報通信ネットワーク	2			2			
	情報理論	2				2		
	制御工学	2				2		
	情報セキュリティ基礎	1				1		
	情報数学*	2					2	
	計測工学*	2					2	
	工学基礎実験	1	1					
	電子情報工学実験	11	2	4	4	1		
創造工学	2				2			
卒業研究Ⅰ	1				1			
卒業研究Ⅱ	10					10		
小計	66	6	7	19	20	14		
データ工学*	2					2		
選択必修	電子材料工学*	2					2	2単位以上修得
小計	4					4		
計算機工学*	2				2		隔年開講	
集積回路工学*	2				2		隔年開講	
マルチメディア工学*	2				2		隔年開講	
人工知能*	2				2		隔年開講	
電子工学Ⅱ*	2					2		
情報セキュリティ応用*	2					2		
応用数学Ⅱ*	2					2		
機械学習*	2					2		
電気磁気学Ⅲ*	2					2		
創造工学演習	5	1	1	1	1	1		
インターンシップ	3		1			1	1	
長期海外インターンシップB	7						7	
グローバルアントレプレナーシップⅠ	2					2	開講しないことがある	
グローバルアントレプレナーシップⅡ	2					2	開講しないことがある	
ロボットデザイン論	1			1				
機械要素*	2				2		(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」「物理学特講」と3科目同時開講	
環境工学序論*	2					2	(前期)専門科目「基礎組込みシステム」と3科目同時開講	
機能材料*	2					2		
環境工学総論*	2					2		
電気エネルギー総論*	2					2	(後期)同時開講	
基礎メカトロニクス*	2					2		
特別講義	1~4				1~4		集中講義又はeラーニング	
小計	44~46	1	1	2	4	23		
守田	115~119		7	8	21	24	41	
				1		13~16		
船開	103	28	27	17	22	9		
船開	218~221	35	35	38	46	50		
			1			13~16		
修得		167以上	134単位以上					
			167単位以上(専門科目82単位以上)					
休		別に定める						

\*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 専門科目 (電子情報工学科)

(令和7年度入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	プログラミング	2	2					
	マイクロコンピュータ基礎	1		1				
	電気電子基礎Ⅰ	1	1					
	電気電子基礎Ⅱ	1		1				
	プログラム設計	1		1				
	デジタル回路	2			2			
	オペレーティングシステム	2			2			
	データ構造とアルゴリズム	2			2			
	電子工学Ⅰ	2			2			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気回路論Ⅰ	2			2			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅱ*	2				2		
	電気回路論Ⅱ*	2				2		
	電子回路Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅰ	2				2		
	ソフトウェア工学	2				2		
	IoTシステム工学*	2				2		
	情報通信ネットワーク	2			2			
	情報理論	2				2		
	制御工学	2				2		
	情報セキュリティ基礎	1				1		
	情報数学*	2					2	
	計測工学*	2					2	
	工学基礎実験	1	1					
	電子情報工学実験	11	2	4	4	1		
	創造工学	2				2		
卒業研究Ⅰ	1				1			
卒業研究Ⅱ	10					10		
小計	66	6	7	19	20	14		
データ工学*	2					2		
電子材料工学*	2					2	2単位以上修得	
小計	4					4		
選択必修	計算機工学*	2				2	隔年開講	
	集積回路工学*	2				2	隔年開講	
	マルチメディア工学*	2				2	隔年開講	
	人工知能*	2				2	隔年開講	
選択科目	電子工学Ⅱ*	2					2	
	情報セキュリティ応用*	2					2	
	応用数学Ⅱ*	2					2	
	機械学習*	2					2	
	電気磁気学Ⅲ*	2					2	
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	3		1		1	1	
	長期海外インターンシップB	7					7	
	グローバルアントレプレナーシップⅠ	2					2	開講しないことがある
	グローバルアントレプレナーシップⅡ	2					2	開講しないことがある
	ロボットデザイン論	1			1			
	機械要素*	2				2		(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」「物理学特講」と3科目同時開講
	環境工学序論*	2					2	(前期)専門科目「基礎組込みシステム」と3科目同時開講
	機能材料*	2					2	
	環境工学総論*	2					2	
	電気エネルギー総論*	2					2	(後期)同時開講
	基礎メカトロニクス*	2					2	
特別講義	1~4					1~4	集中講義又はeラーニング	
Special Lecture Series on Engineering	1			1				
Corporate Internship on Campus	1				1			
小計	47~50	1	1	3	5	23		
			1			13~16		
専門科目開設単位数	117~120	7	8	22	25	41		
			1			13~16		
一般科目開設単位数	103	28	27	17	22	9		
開設単位数合計	220~223	35	35	39	47	50		
			1			13~16		
修得単位数	167以上	134単位以上						
		167単位以上(専門科目82単位以上)						
課題研究	別に定める							

\*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (生物応用化学科)

(令和2年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	情報処理Ⅰ	1	1					
	情報処理Ⅱ	1		1				
	情報セキュリティ概論	1			1			
	情報処理応用*	2				2		
	生物応用化学序論	1	1					
	無機化学Ⅰ	2			2			
	有機化学	4		2	2			
	物理化学Ⅰ	3			2	1		
	物理化学Ⅱ	2				2		
	分析化学	2		2				
	機器分析化学*	2			2			
	基礎細胞生物学	2			2			
	生物化学	2			2			
	化学工学Ⅰ	2			1	1		
	反応工学*	2				2		
	高分子化学Ⅰ*	2				2		
	環境分析化学*	2				2		
	分子生物学*	2				2		
	微生物学	2				2		
	細胞工学*	2					2	
	創造工学	2				2		
	工業化学*	2					2	
	化学工学Ⅱ	2					2	
界面化学*	2					2		
生体・機能材料工学*	2					2		
工学基礎実験	1	1						
生物応用化学実験	13	1	4	4	4			
卒業研究Ⅰ	1					1		
卒業研究Ⅱ	10						10	
小計	74	4	9	18	23	20		
コ応用化学	必修科目	高分子化学Ⅱ*	2				2	
		無機化学Ⅱ*	2					2
		応用化学コース演習	2					2
		応用化学コース実験	2					2
		小計	8	0	0	0	2	6
コ生物化学	必修科目	タンパク質化学*	2					2
		遺伝子工学*	2				2	
		生物化学コース演習	2					2
		生物化学コース実験	2					2
		小計	8	0	0	0	2	6
コース共通選択科目	ロボットデザイン論	1			1			
	機械要素*	2				2		(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」物理特講」と3科目同時開講
	電気電子要素*	2				2		(後期)教養科目「現代科学Ⅱ」「現代科学Ⅲ」「化学特講」と3科目同時開講
	環境工学序論*	2					2	
	機能材料*	2					2	(前期)同時開講
	基礎組込みシステム*	2					2	
	環境工学総論*	2					2	
	電気エネルギー総論*	2					2	(後期)同時開講
	基礎メカトロニクス*	2					2	
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	3		1			1	1
	長期海外インターンシップB	7						7
	特別講義	1~4					1~4	集中講義又はeラーニング
小計	25~28	1	1	2	6	13		
専門科目開設単位数	107~110	5	10	20	31	39		
一般科目開設単位数	99	27	25	16	22	9		
開設単位数合計	206~209	32	35	36	53	48		
			1			1~4		
修得単位数	167以上	134単位以上						
		167単位以上(専門科目82単位以上)						
課題研究	別に定める							

\*の3, 4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 学科名 一般科目(生物応用化学科)

(令和5年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語 I A	2	2					留学生以外
	国語 I B	1	1					
	国語 II	2		2				
	日本文学	2			2			
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	1		1				
	現代社会 I	1	1					
	現代社会 II	2		2				
	現代社会 III	1		1				
	日本語教育 I A	2			2			留学生のみ
	基礎数学 A	4	4					
	基礎数学 B	2	2					
	線形代数 I	2		2				
	線形代数 II *	2			2			
	微分積分 I	4		4				
	微分積分 II	4			4			
	確率統計 *	2				2		
	物理 I	2	2					
	物理 II	2		2				
	物理 III	1			1			
	物理 IV *	4				4		
	化学	4	3	1				
	地球生命科学	2		2				
	英語 I A	4	4					留学生のみ
	英語 I B	2	2					
	英語 II A	2		2				
	英語 II B	2		2				
	英語 III *	2			2			
	英語特講 *	2			2			
	実践英語 I	2				2		
	保健体育	8	2	2	2	2		
	技術者倫理入門	1				1		
	情報	情報処理 I	1	1				
情報セキュリティ概論		1	1					
情報処理 II		1		1				
データサイエンス概論		1			1			
小計	78	27	24	16	11			
選択科目	美術	1	1					同時開講
	音楽	1	1					
	書道	1	1					
	デザイン基礎	1		1				同時開講
	言語表現学 *	2			2			
	歴史学概論 *	2			2			
	数学特講 I *	2			2			
	法学 *	2			2			同時開講
	技術経営 *	2			2			
	数学特講 II *	2			2			
	人文・社会科学 I *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 II *	2				2		
	実践英語 II A *	2				2		
	実践英語 II B *	2				2		同時開講
	中国語 I *	2				2		
	文学概論 *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 III *	2				2		
	人文・社会科学 IV *	2				2		
	実践英語 II C *	2				2		
	コミュニケーション英語 II *	2				2		
	中国語 II *	2				2		
	コミュニケーション英語 I *	2				2		
	現代科学 I *	2				2		専門科目「電気電子要素」3科目同時開講 前期実施
物理学特講 *	2				2			
現代科学 II *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
現代科学 III *	2				2			
化学特講 *	2				2			
日本語教育 I B	1			1			留学生のみ	
日本語教育 II	1				1		留学生のみ	
海外語学実習	5	1	1	1	1	1		
長期海外インターンシップA	4					4		
小計	25	2	2	1	11	9		
一般科目開設単位数	103	29	26	17	22	9		
一般科目総開設単位数	141	31	26	20	37	27		

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 一般科目(生物応用化学科)

(令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語 I A	2	2					留学生以外
	国語 I B	1	1					
	国語 II	2		2				
	日本文学	2			2			
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	1		1				
	現代社会 I	1	1					
	現代社会 II	2		2				
	現代社会 III	1		1				
	日本語教育 I A	2			2			
	基礎数学 A	4	4					
	基礎数学 B	2	2					
	線形代数 I	2		2				
	線形代数 II *	2			2			
	微分積分 I	4		4				
	微分積分 II	4			4			
	確率統計 *	2				2		
	物理 I	2	2					
	物理 II	2		2				
	物理 III	1			1			
	物理 IV *	4				4		
	化学	4	3	1				
	地球生命科学	2		2				
	英語 I A	4	4					
	英語 I B	2	2					
	英語 II A	2		2				
	英語 II B	2		2				
	英語 III *	2			2			
	英語特講 *	2			2			
	実践英語 I	2				2		
保健体育	8	2	2	2	2			
技術者倫理入門	1				1			
情報	情報処理 I	1	1					
	情報セキュリティ概論	1	1					
	情報処理 II	1		1				
	データサイエンス概論	1			1			
小計		78	27	24	16	11		
選択科目	美術	1	1					同時開講
	音楽	1	1					
	書道	1	1					
	デザイン基礎	1		1				同時開講
	言語表現学 *	2				2		
	歴史学概論 *	2				2		
	数学特講 I *	2				2		
	技術経営 *	2				2		同時開講
	数学特講 II *	2				2		
	人文・社会科学 I *	2				2		
	人文・社会科学 II *	2				2		
	実践英語 II A *	2				2		同時開講
	実践英語 II B *	2				2		
	中国語 I *	2				2		
	文学概論 *	2				2		
	人文・社会科学 III *	2				2		同時開講
	人文・社会科学 IV *	2				2		
	実践英語 II C *	2				2		
	コミュニケーション英語 II *	2				2		
	中国語 II *	2				2		同時開講
	コミュニケーション英語 I *	2				2		
	現代科学 I *	2				2		
物理学特講 *	2				2			
現代科学 II *	2				2		専門科目「電気電子要素」と4科目同時開講 後期実施	
現代科学 III *	2				2			
化学特講 *	2				2			
日本語教育 I B	1			1				留学生のみ
日本語教育 II	1				1			
海外語学実習	5	1	1	1	1	1	留学生のみ	
長期海外インターンシップA	4					4		
小計		25	2	2	1	11	9	
一般科目開設単位数		103	29	26	17	22	9	
一般科目総開設単位数		141	31	26	20	37	27	

\*は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (材料工学科)

(令和2年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	情報処理Ⅰ	1	1					
	情報処理Ⅱ	1		1				
	情報セキュリティ概論	1			1			
	情報処理応用*	2					2	
	材料工学序論	1	1					
	基礎材料学	1		1				
	機械工作法	1		1				
	設計製図Ⅰ	1	1					
	設計製図Ⅱ	1		1				
	設計製図Ⅲ	* 2			2			
	設計製図Ⅳ	* 2				2		
	設計製図Ⅴ	* 2					2	
	複合先端マテリアル	* 2				2		
	材料力学	* 2				2		
	材料解析学	* 2				2		
	熱力学	* 2				2		
	統計熱力学	* 2					2	
	材料機器分析	* 2					2	
	材料環境科学	* 2					2	
	金属材料学	* 2			2			
	材料組織学	* 2			2			
	材料評価学	* 2			2			
	無機材料学	* 2			2			
	無機化学	* 2			2			
	物理化学	* 2			2			
	有機材料学	* 2			2			
	分析化学	* 2			2			
有機化学	* 2			2				
ものづくり実習	2		2					
創造工学	2				2			
工学基礎実験	1	1						
材料工学実験	9	1	2	4	2			
卒業研究Ⅰ	4				4			
卒業研究Ⅱ	10					10		
小計	76	5	8	25	18	20		
分野別選択科目	鉄鋼材料	1				1		金属材料分野
	非鉄金属材料	1				1		
	素形材工学	1					1	
	材料保証学	1					1	無機材料分野
	無機機能材料	1				1		
	電気化学	1				1		
	反応速度論	1					1	有機材料分野
	量子力学	1					1	
	高分子科学	1				1		
	有機反応化学	1				1		
高分子物性	1					1		
先端高分子材料	1					1		
小計	12				6	6		
ロボットデザイン論	1			1				
選択科目	機械要素*	2				2		(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」[物理学特講]と3科目同時開講
	電気電子要素*	2				2		(後期)教養科目「現代科学Ⅱ」[現代科学Ⅲ][化学特講]と4科目同時開講
	環境工学序論	* 2					2	(前期)同時開講
	機能材料	* 2					2	
	基礎組込みシステム	* 2					2	
	環境工学総論	* 2					2	(後期)同時開講
	電気エネルギー総論	* 2					2	
	基礎メカトロニクス	* 2					2	
	特別講義	1～4				1～4		集中講義またはeラーニング
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
インターンシップ	3		1		1	1		
長期海外インターンシップB	7					7		
小計	25～28	1	1	2	6	13		
専門科目開設単位数	113～116	6	9	27	30	39		
一般科目開設単位数	99	26	26	16	22	9		
開設総単位数合計	212～215	32	35	43	52	48		
			1		1～4			
修得単位数	167以上	134単位以上 167単位以上 (専門科目82単位以上)						
課題研究 別に定める								

\*の3, 4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (材料工学科)

(令和5年度以降入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
	情報処理応用*	2					2	
	材料工学序論	1	1					
	基礎材料学	1		1				
	機械工作法	1		1				
	設計製図Ⅰ	1	1					
	設計製図Ⅱ	1		1				
	設計製図Ⅲ*	2			2			
	設計製図Ⅳ*	2				2		
	設計製図Ⅴ*	2					2	
	複合先端マテリアル*	2				2		
	材料力学*	2				2		
	材料解析学*	2				2		
	熱力学*	2				2		
	統計熱力学*	2					2	
	材料機器分析*	2					2	
	材料環境科学*	2					2	
	金属材料*	2			2			
	材料組織学*	2			2			
	材料評価学*	2			2			
	無機材料*	2			2			
	無機化学*	2			2			
	物理化学*	2			2			
	有機材料*	2			2			
	分析化学*	2			2			
	有機化学*	2			2			
	ものづくり実習	2		2				
	創造工学	2					2	
	工学基礎実験	1	1					
	材料工学実験	9	1	2	4	2		
	卒業研究Ⅰ	4				4		
	卒業研究Ⅱ	10					10	
	小計	73	4	7	24	18	20	
分野別選択科目	鉄鋼材料	1				1		金属材料分野
	非鉄金属材料	1				1		
	素形材工学	1					1	
	材料保証学	1					1	無機材料分野
	無機機能材料	1				1		
	電気化学	1				1		
	反応速度論	1					1	
	量子力学	1					1	有機材料分野
	高分子科学	1				1		
	有機反応化学	1				1		
高分子物性	1					1		
先端高分子材料	1					1		
小計	12				6	6		
選 択 科 目	ロボットデザイン論	1			1			(前期)同時開講 (後期)同時開講 集中講義またはeラーニング
	機械要素*	2				2		
	電気電子要素*	2				2		
	環境工学序論*	2					2	
	機能材料*	2					2	
	基礎組み込みシステム*	2					2	
	環境工学総論*	2					2	
	電気エネルギー総論*	2					2	
	基礎メカトロニクス*	2					2	
	特別講義	1~4					1~4	
創造工学演習	5	1	1	1	1	1		
インターンシップ	3		1		1	1		
長期海外インターンシップB	7					7		
小計	25~28	1	1	2	6	13		
専門科目開設単位数	110~113	5	8	26	30	39		
一般科目開設単位数	103	28	27	17	22	9		
開設総単位数合計	213~216	33	35	43	52	48		
			1		1~4			
修 得 単 位 数	167以上	134単位以上 167単位以上(専門科目82単位以上)						
課 題 研 究	別に定める							

\*の3, 4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (材料工学科)

(令和6年度入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
	情報処理応用*	2					2	
	材料工学序論	1	1					
	基礎材料学	1		1				
	機械工学作法	1		1				
	設計製図Ⅰ	1	1					
	設計製図Ⅱ	1		1				
	設計製図Ⅲ*	2			2			
	設計製図Ⅳ*	2				2		
	設計製図Ⅴ*	2					2	
	複合先端マテリアル*	2				2		
	材料力学*	2				2		
	材料解析学*	2				2		
	熱力学*	2				2		
	量子力学*	2					2	
	材料機器分析*	2					2	
	材料環境科学*	2					2	
	金属属材科学*	2			2			
	材料組織学*	2			2			
	材料評価学*	2			2			
	無機材料学*	2			2			
	無機化学*	2			2			
	物理化学*	2			2			
	有機材料学*	2			2			
	分析化学*	2			2			
	有機化学*	2			2			
	ものづくり実習	2		2				
創造工学	2					2		
工学基礎実験	1	1						
材料工学実験	9	1	2	4	2			
卒業研究Ⅰ	4					4		
卒業研究Ⅱ	10						10	
小計	73	4	7	24	18	20		
分野別選択科目	鉄鋼材料	1				1		金属材料分野
	非鉄金属材料	1				1		
	素形材工学	1					1	
	材料保証学	1					1	無機材料分野
	無機機能材料	1				1		
	電気化学	1				1		
	反応速度論	1					1	有機材料分野
	統計熱力学	1					1	
	高分分子科学	1				1		
	有機反応化学	1					1	
高分子物性	1					1		
先端高分子材料	1					1		
小計	12				6	6		
選 択 科 目	ロボットデザイン論	1			1			
	機械要素*	2				2		(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」「物理学特講」と3科目同時開講
	電気電子要素*	2				2		(後期)教養科目「現代科学Ⅱ」「現代科学Ⅲ」「化学特講」と4科目同時開講
	環境工学序論	2					2	
	機能材料*	2					2	(前期)同時開講
	基礎組込みシステム*	2					2	
	環境工学総論*	2					2	
	電気エネルギー総論*	2					2	(後期)同時開講
	基礎メカトロニクス*	2					2	
	特別講義	1~4					1~4	集中講義またはeラーニング
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	3		1			1	
長期海外インターンシップB	7					7		
グローバル・アントレプレナーシップⅠ	2					2	開講しないことがある	
グローバル・アントレプレナーシップⅡ	2					2	開講しないことがある	
小計	25~28	1	1	2	6	13		
専門科目開設単位数	110~113	5	8	26	30	39		
一般科目開設単位数	103		1		1~4			
開設総単位数合計	213~216	33	27	43	52	48		
			1		1~4			
修 得 単 位 数	167以上	134単位以上 167単位以上(専門科目82単位以上)						
課 題 研 究	別に定める							

\*の3, 4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

学科名 専門科目 (材料工学科)

(令和7年度入学)

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
	情 報 処 理 応 用 *	2					2	
	材 料 工 学 序 論	1	1					
	基 礎 材 料 学	1		1				
	機 械 工 作 法	1		1				
	設 計 製 図 I	1	1					
	設 計 製 図 II	1		1				
	設 計 製 図 III *	2			2			
	設 計 製 図 IV *	2				2		
	設 計 製 図 V *	2					2	
	複 合 先 端 マ テ リ ア ル *	2				2		
	材 料 力 学 *	2				2		
	材 料 解 析 学 *	2				2		
	熱 力 学 *	2				2		
	量 子 力 学 *	2					2	
	材 料 機 器 分 析 学 *	2					2	
	材 料 環 境 科 学 *	2					2	
	金 属 材 料 学 *	2		2				
	材 料 組 織 学 *	2		2				
	材 料 評 価 学 *	2		2				
	無 機 材 料 学 *	2		2				
	無 機 化 学 *	2		2				
	物 理 化 学 *	2		2				
	有 機 材 料 学 *	2		2				
	分 析 化 学 *	2		2				
	有 機 化 学 *	2		2				
	も の づ く り 実 習	2		2				
	創 造 工 学	2				2		
	工 学 基 礎 実 験	1	1					
	材 料 工 学 実 験	9	1	2	4	2		
	卒 業 研 究 I	4				4		
	卒 業 研 究 II	10					10	
	小 計	73	4	7	24	18	20	
分 野 別 選 択 科 目	鉄 鋼 材 料	1				1		金属材料分野
	非 鉄 金 属 材 料	1				1		
	素 形 材 工 学	1					1	
	材 料 保 証 学	1					1	無機材料分野
	無 機 機 能 材 料	1				1		
	電 気 化 学	1				1		
	反 応 速 度 論	1					1	有機材料分野
	統 計 熱 力 学	1					1	
	高 分 子 科 学	1				1		
	有 機 反 応 化 学	1				1		
	高 分 子 物 性	1					1	
	先 端 高 分 子 材 料	1					1	
小 計	12				6	6		
選 択 科 目	ロ ボ ッ ト デ ザ イン 論	1			1			(前期)教養科目「現代科学Ⅰ」「物理学特講」と3科目同時開講
	機 械 要 素 *	2				2		
	電 気 電 子 要 素 *	2				2		(後期)教養科目「現代科学Ⅱ」「現代科学Ⅲ」「化学特講」と4科目同時開講
	環 境 工 学 序 論 *	2					2	(前期)同時開講
	機 能 材 料 *	2					2	
	基 礎 組 込 み シ ス テ ム *	2					2	(後期)同時開講
	環 境 工 学 総 論 *	2					2	
	電 気 エ ネ ルギ ー 総 論 *	2					2	
	基 礎 メ カ ト ロ ニ ク ス *	2					2	
	特 別 講 義	1~4				1~4		集中講義またはeラーニング
	創 造 工 学 演 習	5	1	1	1	1	1	開講しないことがある 開講しないことがある
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	3		1		1	1	
	長 期 海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ B	7					7	
	グ ロー バ ル ・ ア ン ト レ プ レ ナ ー シ ッ プ I	2					2	
グ ロー バ ル ・ ア ン ト レ プ レ ナ ー シ ッ プ II	2					2		
Special Lecture Series on Engineering	1			1				
Corporate Internship on Campus	1				1			
小 計	27~30	1	1	3	7	13		
専 門 科 目 開 設 単 位 数	112~115	5	8	27	31	39		
一 般 科 目 開 設 単 位 数	103		1		1~4			
開 設 総 単 位 数 合 計	215~218	28	27	17	22	9		
		33	35	44	53	48		
			1		1~4			
修 得 単 位 数	167以上	134単位以上						
		167単位以上(専門科目82単位以上)						
課 題 研 究	別に定める							

\*の3, 4, 5年は学則第26条第3項による授業科目(学修単位)  
学修単位の卒業要件への算入は60単位を上限とする

## 教養・コース共通科目

(令和6年度入学)

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
教養科目	必修	技術英語Ⅰ	1	1		2単位以上修得
		技術英語Ⅱ	1		1	
		技術者倫理	2	2		
		国際関係論	2		2	
		小計	6	3	3	
	選択	経営学	2		2	
		言語表現学特論	2		2	
		グローバル・リーダー論	2	2		
		英語表現論	2	2		
		海外語学実習Ⅰ	1		1	
		海外語学実習Ⅱ	2		2	
		海外語学実習Ⅲ	3		3	
		小計	14	4	4	
				6		
コース共通科目	必修	代数学特論	2	2		開講しないことがある。
		数理解析学	2	2		
		環境保全工学	2	2		
		信頼性工学	2	2		
		応用情報工学	2	2		
		センサ工学	2		2	
		物性工学	2		2	
		小計	14	10	4	
	選択	物理学特論	2	2		
		生命工学	2		2	
		インターンシップⅠ	1		1	
		インターンシップⅡ	2		2	
		国際インターンシップⅠ	2		2	
		国際インターンシップⅡ	4		4	
		長期海外インターンシップ	12	12		
		実践工業数学Ⅰ	1		1	
		実践工業数学Ⅱ	1		1	
		特別講義	2		2	
		小計	29	14	2	
					13	

## 教養・コース共通科目

(令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
教養科目	必修	技術英語Ⅰ	1	1		2単位以上修得
		技術英語Ⅱ	1		1	
		技術者倫理	2	2		
		国際関係論	2		2	
		小計	6	3	3	
	選択	経営学	2		2	
		言語表現学特論	2		2	
		グローバル・リーダー論	2	2		
		英語表現論	2	2		
		海外語学実習Ⅰ	1		1	
		海外語学実習Ⅱ	2		2	
		海外語学実習Ⅲ	3		3	
		小計	14	4	4	
				6		
コース共通科目	必修	代数学特論	2	2		開講しないことがある。
		数理解析学	2	2		
		環境保全工学	2	2		
		信頼性工学	2	2		
		応用情報工学	2	2		
		センサ工学	2		2	
		物性工学	2		2	
		小計	14	10	4	
	選択	物理学特論	2	2		
		生命工学	2		2	
		インターンシップⅠ	1		1	
		インターンシップⅡ	2		2	
		国際インターンシップⅠ	2		2	
		国際インターンシップⅡ	4		4	
		長期海外インターンシップ	12	12		
		実践工業数学Ⅰ	1		1	
		実践工業数学Ⅱ	1		1	
		特別講義	2		2	
		小計	29	14	2	
					13	

## 専門科目

(令和6年度入学)

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
必修	総合イノベーション工学輪講	2		2		
	総合イノベーション工学実験	2	2			
	特別研究Ⅰ	8	8			
	特別研究Ⅱ	8		8		
	小計	20	10	10		
コース必修	海洋環境学	2		2	環境・資源コース	同時 開講科目
	次世代エネルギー工学	2		2	エネルギー・ 機能創成コース	
	実践メカトロニクス	2		2	ロボットテクノロジーコース	
	小計	6		6		
専門展開科目	非破壊検査工学	2	2		2単位以上修得	
	有機化学特論	2	2			
	材料物理学	2	2			
	電気理論特論	2	2			
	流体力学特論	2	2			
	移動現象論	2	2		環境・資源コース 4単位以上 修得	
	エネルギー移送論	2		2		
	分子生命科学	2	2			
	有機材料工学	2		2		
	生体機能工学	2		2		
	環境科学特論	2		2		
	環境調和材料	2		2		
	制御機器工学	2	2			
	エネルギー移送論	2		2		
	分子生命科学	2	2			
	移動現象論	2	2			
	材料強度工学	2		2		
	生体機能工学	2		2		
	環境科学特論	2		2		
	環境調和材料	2		2		
	IoTシステム特論	2		2		
	電子材料特論	2		2		
	制御機器工学	2	2			
	流体力学特論	2	2		ロボットテクノロジーコース 4単位以上 修得	
	材料強度工学	2		2		
	有機材料工学	2		2		
	IoTシステム特論	2		2		
	小計	32	16	16		
教養科目（必修）開設単位数		6	3	3		
教養科目（選択）開設単位数		14	4	4		
			6			
コース共通科目（必修）開設単位数		14	10	4		
コース共通科目（選択）開設単位数		33	14	2		
			17			
専門展開科目（必修）開設単位数		20	10	10		
専門展開科目（コース必修）開設単位数		6		6		
専門展開科目（選択）開設単位数		32	16	16		
開設単位数合計		125	57	45		
			23			
修得単位数	62単位以上	教養科目		必修	6単位	
				選択	2単位以上	
		コース共通科目		必修	14単位	
				必修	20単位	
				コース必修	2単位	
		選択	8単位以上			

## 専門科目

(令和6年度入学)

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
必修	総合イノベーション工学輪講	2		2		
	総合イノベーション工学実験	2	2			
	特別研究Ⅰ	8	8			
	特別研究Ⅱ	8		8		
	小計	20	10	10		
コース必修	海洋環境学	2		2	環境・資源コース	同時 開講科目
	次世代エネルギー工学	2		2	エネルギー・ 機能創成コース	
	実践メカトロニクス	2		2	ロボットテクノロジーコース	
	小計	6		6		
専門展開科目	非破壊検査工学	2	2		2単位以上修得	
	有機化学特論	2	2			
	材料物理学	2	2			
	電気理論特論	2	2			
	流体力学特論	2	2		環境・資源コース 4単位以上 修得	
	移動現象論	2	2			
	エネルギー移送論	2		2		
	分子生命科学	2	2			
	有機材料工学	2		2		
	生体機能工学	2		2		
	環境科学特論	2		2		
	環境調和材料	2		2		
	制御機器工学	2	2		8単位以上 修得	
	エネルギー移送論	2		2		
	分子生命科学	2	2			
	移動現象論	2	2			
	材料強度工学	2		2		
	生体機能工学	2		2		
	環境科学特論	2		2		
	環境調和材料	2		2		
	IoTシステム特論	2		2		
	電子材料特論	2		2		
	制御機器工学	2	2			
	流体力学特論	2	2			
	材料強度工学	2		2	ロボットテクノロジーコース 4単位以上 修得	
	有機材料工学	2		2		
	IoTシステム特論	2		2		
	電子材料特論	2		2		
小計	32	16	16			
教養科目（必修）開設単位数		6	3	3		
教養科目（選択）開設単位数		14	4	4		
			6			
コース共通科目（必修）開設単位数		14	10	4		
コース共通科目（選択）開設単位数		33	14	2		
			17			
専門展開科目（必修）開設単位数		20	10	10		
専門展開科目（コース必修）開設単位数		6		6		
専門展開科目（選択）開設単位数		32	16	16		
開設単位数合計		125	57	45		
			23			
修得単位数	62単位以上	教養科目		必修	6単位	
				選択	2単位以上	
		コース共通科目		必修	14単位	
				必修	20単位	
				コース必修	2単位	
		選択	8単位以上			

## 専門科目

(令和7年度入学)

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考		
			1年次	2年次			
専門展開科目	必修	総合イノベーション工学輪講	2		2		
		総合イノベーション工学実験	2	2			
		特別研究Ⅰ	8	8			
		特別研究Ⅱ	8		8		
		小計	20	10	10		
	コース必修	海洋環境学	2		2	環境・資源コース	同時開講科目
		次世代エネルギー工学	2		2	エネルギー・機能創成コース	
		実践メカトロニクス	2		2	ロボットテクノロジーコース	
		小計	6		6		
	選択	非破壊検査工学	2	2		2単位以上修得	8単位以上修得
		有機化学特論	2	2			
		材料物理学	2	2			
		電気理論特論	2	2			
		流体力学特論	2	2		環境・資源コース 4単位以上修得	
		移動現象論	2	2			
		エネルギー移送論	2		2		
		分子生命科学	2	2			
		有機材料工学	2		2	エネルギー・機能創成コース 4単位以上修得	
		生体機能工学	2		2		
		環境科学特論	2		2		
環境調和材料		2		2			
制御機器工学		2	2		ロボットテクノロジーコース 4単位以上修得		
エネルギー移送論		2		2			
分子生命科学		2	2				
移動現象論		2	2				
材料強度工学		2		2	環境・資源コース 4単位以上修得		
生体機能工学		2		2			
環境科学特論		2		2			
環境調和材料		2		2			
IoTシステム特論	2		2	環境・資源コース 4単位以上修得			
電子材料特論	2		2				
制御機器工学	2	2					
流体力学特論	2	2					
材料強度工学	2		2	環境・資源コース 4単位以上修得			
有機材料工学	2		2				
IoTシステム特論	2		2				
電子材料特論	2		2				
小計	32	16	16				
教養科目（必修）開設単位数		6	3	3			
教養科目（選択）開設単位数		14	4	4			
			6				
コース共通科目（必修）開設単位数		14	10	4			
コース共通科目（選択）開設単位数		33	14	2			
			17				
専門展開科目（必修）開設単位数		20	10	10			
専門展開科目（コース必修）開設単位数		6		6			
専門展開科目（選択）開設単位数		32	16	16			
開設単位数合計		125	57	45			
			23				
修得単位数		62単位以上	教養科目		必修	6単位	
			コース共通科目		必修	14単位	
			専門展開科目		必修	20単位	
					コース必修	2単位	
					選択	8単位以上	

## 別表第3-2(第51条関係)

専攻科(連携教育プログラムコース) 教養科目

(令和2-7年度入学)

区	分	授 業 科 目	単 位 数	年 次 別 配 当		備 考
				1年次	2年次	
教 養 科 目	選 択	技 術 英 語 I	1	1		
		技 術 英 語 II	1	1		
		技 術 者 倫 理	2	2		
		国 際 関 係 論	2	2		
		経 営 学	2	2		
		言 語 表 現 学 特 論	2	2		
		英 語 表 現 論	2	2		
		海 外 語 学 実 習 I	1	1		
		海 外 語 学 実 習 II	2	2		
		海 外 語 学 実 習 III	3	3		
		グ ローバル・リーダー論	2	2		
小 計	20	20				

※豊橋技術科学大学の学則等を参照し、卒業要件を確認すること

別表第3-2 (第51条関係)  
専攻科(連携教育プログラムコース)専門科目

(令和5,6年度入学)

区 分	授 業 科 目	単 位 数	年 次 別 配 当		備 考		
			1 年 次	2 年 次			
実践力強化科目	必修	卒業研究 I A	4	4			
		卒業研究 I B	4	4	豊橋技術科学大学開講科目		
		卒業研究 II A	4		4		
		卒業研究 II B	4		4	豊橋技術科学大学開講科目	
		先端融合テクノロジーセミナー I	2	2			
		先端融合テクノロジーセミナー II	2		2	豊橋技術科学大学開講科目	
		実務訓練 A	2	2		豊橋技術科学大学開講科目	
		小 計	22	12	10		
		選択	実務訓練 B	2	2		豊橋技術科学大学開講科目
			小 計	2	2	0	
専門科目	選択	代 数 学 特 論	2	2			
		数 理 解 析 学	2	2			
		環 境 保 全 工 学	2	2			
		信 頼 性 工 学	2	2			
		応 用 情 報 工 学	2	2			
		セ ン サ 工 学	2	2			
		物 性 工 学	2	2			
		物 理 学 特 論	2	2			
		生 命 工 学	2	2			
		実 践 工 業 数 学 I	1	1			
		実 践 工 業 数 学 II	1	1			
		特 別 講 義	2	2		開講しないことがある	
		小 計	22	22	0	2単位以上修得	
専門展開科目	選択	非 破 壊 検 査 工 学	2	2			
		電 子 材 料 特 論	2	2			
		有 機 化 学 特 論	2	2			
		材 料 物 理 学	2	2			
		海 洋 環 境 学	2	2			
		次 世 代 エ ネ ル ギ ー 工 学	2	2			
		実 践 メ カ ト ロ ニ ク ス	2	2			
		流 体 力 学 特 論	2	2			
		移 動 現 象 論	2	2			
		有 機 材 料 工 学	2	2		2単位以上修得	
		エ ネ ル ギ ー 移 送 論	2	2			
		生 体 機 能 工 学	2	2			
		分 子 生 命 科 学	2	2			
		環 境 科 学 特 論	2	2			
		環 境 調 和 材 料	2	2			
		制 御 機 器 工 学	2	2			
		材 料 強 度 工 学	2	2			
		IoT シ ス テ ム 特 論	2	2			
電 気 理 論 特 論	2	2					
小 計	38	38					
教 養 科 目 開 設 単 位 数		20	20				
実践力強化科目(必修)開設単位数		22	12	10			
実践力強化科目(選択)開設単位数		2	2				
専 門 科 目 ( 選 択 )		22	22				
専 門 展 開 科 目 ( 選 択 ) 開 設 単 位 数		38	38	0			
開 設 単 位 数 合 計		104	94	10			
修 得 単 位 数	62単位以上	教 養 科 目	選 択	2 単 位 以 上			
		実 践 力 強 化 科 目	必 修	22 単 位			
		専 門 科 目	選 択	2 単 位 以 上			
		専 門 展 開 科 目	選 択	2 単 位 以 上			

※豊橋技術科学大学の学則等を参照し、卒業要件を確認すること

※豊橋技術科学大学含む他大学等の開講科目群からの専攻科修了要件への算入は30単位を上限とする

## 別表第3-2 (第51条関係)

## 専攻科(連携教育プログラムコース)専門科目

(令和7年度入学)

区 分	授 業 科 目	単 位 数	年 次 別 配 当		備 考	
			1 年 次	2 年 次		
実践力強化科目	必修	卒業研究 I A	4	4		
		卒業研究 I B	4	4	豊橋技術科学大学開講科目	
		卒業研究 II A	4		4	
		卒業研究 II B	4		4	豊橋技術科学大学開講科目
		先端融合テクノロジーセミナー I	2	2		
		先端融合テクノロジーセミナー II	2		2	豊橋技術科学大学開講科目
		実務訓練 A	2	2		豊橋技術科学大学開講科目
		小 計	22	12	10	
	選択	実務訓練 B	2	2		豊橋技術科学大学開講科目
小 計	2	2	0			
専門科目	選択	代 数 学 特 論	2	2		
		数 理 解 析 学	2	2		
		環 境 保 全 工 学	2	2		
		信 頼 性 工 学	2	2		
		応 用 情 報 工 学	2	2		
		セ ン サ 工 学	2	2		
		物 性 工 学	2	2		
		物 理 学 特 論	2	2		
		生 命 工 学	2	2		
		実 践 工 業 数 学 I	1	1		
	実 践 工 業 数 学 II	1	1			
特 別 講 義	2	2		開講しないことがある		
小 計	22	22	0			
専門展開科目	選択	非 破 壊 検 査 工 学	2	2		
		電 子 材 料 特 論	2	2		
		有 機 化 学 特 論	2	2		
		材 料 物 理 学	2	2		
		海 洋 環 境 学	2	2		
		次 世 代 エ ネ ル ギ ー 工 学	2	2		
		実 践 メ カ ト ロ ニ ク ス	2	2		
		流 体 力 学 特 論	2	2		
		移 動 現 象 論	2	2		
		有 機 材 料 工 学	2	2		2単位以上修得
		エ ネ ル ギ ー 移 送 論	2	2		
		生 体 機 能 工 学	2	2		
		分 子 生 命 科 学	2	2		
		環 境 科 学 特 論	2	2		
		環 境 調 和 材 料	2	2		
		制 御 機 器 工 学	2	2		
	材 料 強 度 工 学	2	2			
IoT シ ス テ ム 特 論	2	2				
電 気 理 論 特 論	2	2				
小 計	38	38				
教 養 科 目 開 設 単 位 数		20	20			
実践力強化科目(必修)開設単位数		22	12	10		
実践力強化科目(選択)開設単位数		2	2			
専 門 科 目 ( 選 択 )		22	22			
専 門 展 開 科 目 ( 選 択 ) 開 設 単 位 数		38	38	0		
開 設 単 位 数 合 計		104	94	10		
修 得 単 位 数	62単位以上	教 養 科 目	選 択	2 単 位 以 上		
		実 践 力 強 化 科 目	必 修	22 単 位		
		専 門 科 目	選 択	2 単 位 以 上		
		専 門 展 開 科 目	選 択	2 単 位 以 上		

※豊橋技術科学大学の学則等を参照し、卒業要件を確認すること

※豊橋技術科学大学含む他大学等の開講科目群からの専攻科修了要件への算入は30単位を上限とする

## 鈴鹿工業高等専門学校ディプロマ・ポリシー

## ディプロマ・ポリシー

## 【機械工学科】

鈴鹿高専の（機械工学科）の学習・教育到達目標のもと、以下の知識および能力を身につけ、本校第5学年修了時に所定の単位（全学年において修得した単位は、167単位以上、そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする）を修得した学生に対して卒業を認定し、準学士の称号を授与する。

## (A) 技術者としての姿勢

＜視野＞自己と世界との関係を理解し国際的素養を身につけ、地球規模で物事を眺めることができる能力。

＜技術者倫理＞生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚できる能力。

＜意欲＞習得した知識・能力を超える問題に備えて、自ら継続的・自律的に学習できる能力。

## (B) 基礎・専門の知識とその応用力

＜基礎＞実践的技術者に必要な数学、自然科学及び AI・データサイエンスに関する情報技術の知識の内容を習得し、それを活用できる能力。

＜専門＞機械主要分野の専門基礎知識、および機械分野の諸問題解決に必要な専門知識・技術を習得し、地域・社会に貢献できる能力。

＜展開＞習得した知識をもとに創造性を発揮し、限られた時間内で仕事を計画的に進めまとめることができる能力。

## (C) コミュニケーション能力

＜発表＞他者と協働し、自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に表現（記述・伝達・討論）できる能力。

＜英語＞英語による基本的なコミュニケーションができる能力。

また、機械工学科の特色としては、伝統的な機械工学の基礎から応用に加えて、コンピューターを活用した設計能力の育成、マイコン制御から数値解析プログラミングまで、実践的かつ創造的なロボットテクノロジー教育にも力を入れている。

## ディプロマ・ポリシー

### 【電気電子工学科】

鈴鹿高専の（電気電子工学科）の学習・教育到達目標のもと、以下の知識および能力を身につけ、本校第5学年修了時に所定の単位（全学年において修得した単位は、167単位以上、そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする）を修得した学生に対して卒業を認定し、準学士の称号を授与する。

#### (A) 技術者としての姿勢

＜視野＞自己と世界の関係を理解し国際的素養を身につけ、地球規模で物事を眺めることができる能力。

＜技術者倫理＞生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚できる能力。

＜意欲＞習得した知識・能力を超える問題に備えて、自ら継続的・自律的に学習できる能力。

#### (B) 基礎・専門の知識とその応用力

＜基礎＞実践的技術者に必要な数学、自然科学及び AI・データサイエンスに関する情報技術の知識の内容を習得し、それを活用できる能力。

＜専門＞電気電子工学に関する分野の知識を習得し、地域・社会に貢献できる能力。

＜展開＞習得した知識をもとに創造性を発揮し、限られた時間内で仕事を計画的に進めまとめることができる能力。

#### (C) コミュニケーション能力

＜発表＞他者と協働し、自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に表現（記述・伝達・討論）できる能力。

＜英語＞英語による基本的なコミュニケーションができる能力。

また、電気工学科の特色としては、電気電子工学の基礎から専門の科目に加え、その知識を活用できる高電圧、電気材料、半導体等に関する科目の学習や工学実験に力を入れている。また、電気主任技術者資格取得を念頭に置いた電気法規、製図等の科目も用意している。さらに、Society5.0時代の未来技術の中核となる人材育成を目指して、ICT、IoT、ロボットテクノロジー分野へ応用できる科目の学習にも取り組んでいる。

## ディプロマ・ポリシー

### 【電子情報工学科】

鈴鹿高専の（電子情報工学科）の学習・教育到達目標のもと、以下の知識および能力を身につけ、本校第5学年修了時に所定の単位（全学年において修得した単位は、167単位以上、そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする）を修得した学生に対して卒業を認定し、準学士の称号を授与する。

#### (A) 技術者としての姿勢

＜視野＞自己と世界との関係を理解し国際的素養を身につけ、地球規模で物事を眺めることができる能力。

＜技術者倫理＞生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚できる能力。

＜意欲＞習得した知識・能力を超える問題に備えて、継続的・自律的に学習できる能力。

#### (B) 基礎・専門の知識とその応用力

＜基礎＞実践的技術者に必要な数学、自然科学及び AI・データサイエンスに関する情報技術の知識の内容を習得し、それを活用できる能力。

＜専門＞電子情報工学と関連分野の知識を習得している、地域・社会に貢献できる能力。

＜展開＞習得した知識をもとに創造性を発揮し、電気・電子および情報・通信技術を融合し、新たな価値を生み出す能力。

#### (C) コミュニケーション能力

＜発表＞他者と協働し、自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に表現（記述・伝達・討論）できる能力。

＜英語＞英語による技術文書の記述・読解が出来る能力。

また、電子情報工学科の特色としては、電気電子系および情報系 MCC のほとんどの科目を網羅したハードとソフトの両方の基礎を学び、電子物性や知的情報処理に関する応用をより実践的に身に付けた学生に卒業を認定している。

## ディプロマ・ポリシー

### 【生物応用化学科】

鈴鹿高専の（生物応用化学科）の学習・教育到達目標のもと、以下の知識および能力を身につけ、本校第5学年修了時に所定の単位（全学年において修得した単位は、167単位以上、そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする）を修得した学生に対して卒業を認定し、準学士の称号を授与する。

#### (A) 技術者としての姿勢

＜視野＞自己と世界との関係を理解し国際的素養を身につけ、地球規模で物事を眺めることができる能力。

＜技術者倫理＞生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚できる能力。

＜意欲＞習得した知識・能力を超える問題に備えて、自ら継続的・自律的に学習できる能力。

#### (B) 基礎・専門の知識とその応用力

＜基礎＞実践的技術者に必要な数学、自然科学及び AI・データサイエンスに関する情報技術の知識の内容を習得し、それを活用できる能力。

＜専門＞化学及び生物化学に関する専門知識・実践技術を習得し、地域・社会に貢献できる能力。

＜展開＞習得した知識をもとに創造性を発揮し、限られた時間内で仕事を計画的に進めまとめることができる能力。

#### (C) コミュニケーション能力

＜発表＞他者と協働し、自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に表現（記述・伝達・討論）できる能力。

＜英語＞英語による基本的なコミュニケーションができる能力。

また、生物応用化学の特色としては、化学・生物系分野の MCC 学習内容を系統的に学習できるようカリキュラムが設計されている。さらに座学においては界面化学や量子化学、生体材料工学、細胞工学、遺伝子工学など、実験科目においては分子軌道計算や遺伝子組換えなど、MCC 学習内容には含まれない内容も教授し、基礎学力と実践力の両方がより高いレベルで身につけられることにも力を入れている。

## ディプロマ・ポリシー

### 【材料工学科】

鈴鹿高専の（材料工学科）の学習・教育到達目標のもと、以下の知識および能力を身につけ、本校第5学年修了時に所定の単位（全学年において修得した単位は、167単位以上、そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする）を修得した学生に対して卒業を認定し、準学士の称号を授与する。

#### (A) 技術者としての姿勢

<視野>自己と世界の関係を理解し国際的素養を身につけ、地球規模で物事を眺めることができる能力。

<技術者倫理>生産により生じる環境と社会への影響や AI 社会への進展（深化、変化、変革）を認識し責任を自覚できる能力。

<意欲>習得した知識・技術・能力を超える問題に備えて、自ら継続的・自律的に学習できる能力。

#### (B) 基礎・専門の知識とその応用力

<基礎>実践的技術者に必要な数学、自然科学及び AI・データサイエンスに関する情報技術の知識の内容を習得し、それを活用できる能力。

<専門>材料工学科と関連分野の専門基礎知識、専門知識・技術を習得し、地域・社会に貢献できる能力。

<展開>習得した知識をもとに創造性を発揮し、限られた時間内で仕事を計画的に進めまとめることができる能力。

#### (C) コミュニケーション能力

<発表>他者と協働し、自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に表現（記述・伝達・討論）できる能力。

<英語>英語による基本的なコミュニケーションができる能力。

また、材料工学科の特色としては、材料系分野の MCC に準拠した内容を3年生までに系統的に教授した後、金属材料、無機材料、有機材料に関する高度な専門知識を習得するためのカリキュラムを学生自身が興味に合わせてデザイン可能な教育プログラムを遂行している。さらに、最新の機器を利用した材料の設計、合成、加工、分析および評価、ならびに CAD による機械設備の設計・製図など、実践的能力の涵養にも注力している。

## ディプロマ・ポリシー

### 【総合イノベーション工学専攻】

総合イノベーション工学専攻では、専攻科の教育方針および総合イノベーション工学専攻の教育目標のもと、所定の単位を修得し、以下の知識および能力を身につけた学生に対して修了を認定する。

#### (A) 技術者としての姿勢

- <視野>自己と世界の間係を理解し地球規模で物事を眺めることができる。
- <技術者倫理>生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚できる。
- <意欲>習得した知識・能力を超える問題に備えて、継続的・自律的に学習できる。

#### (B) 基礎・専門の知識とその応用力

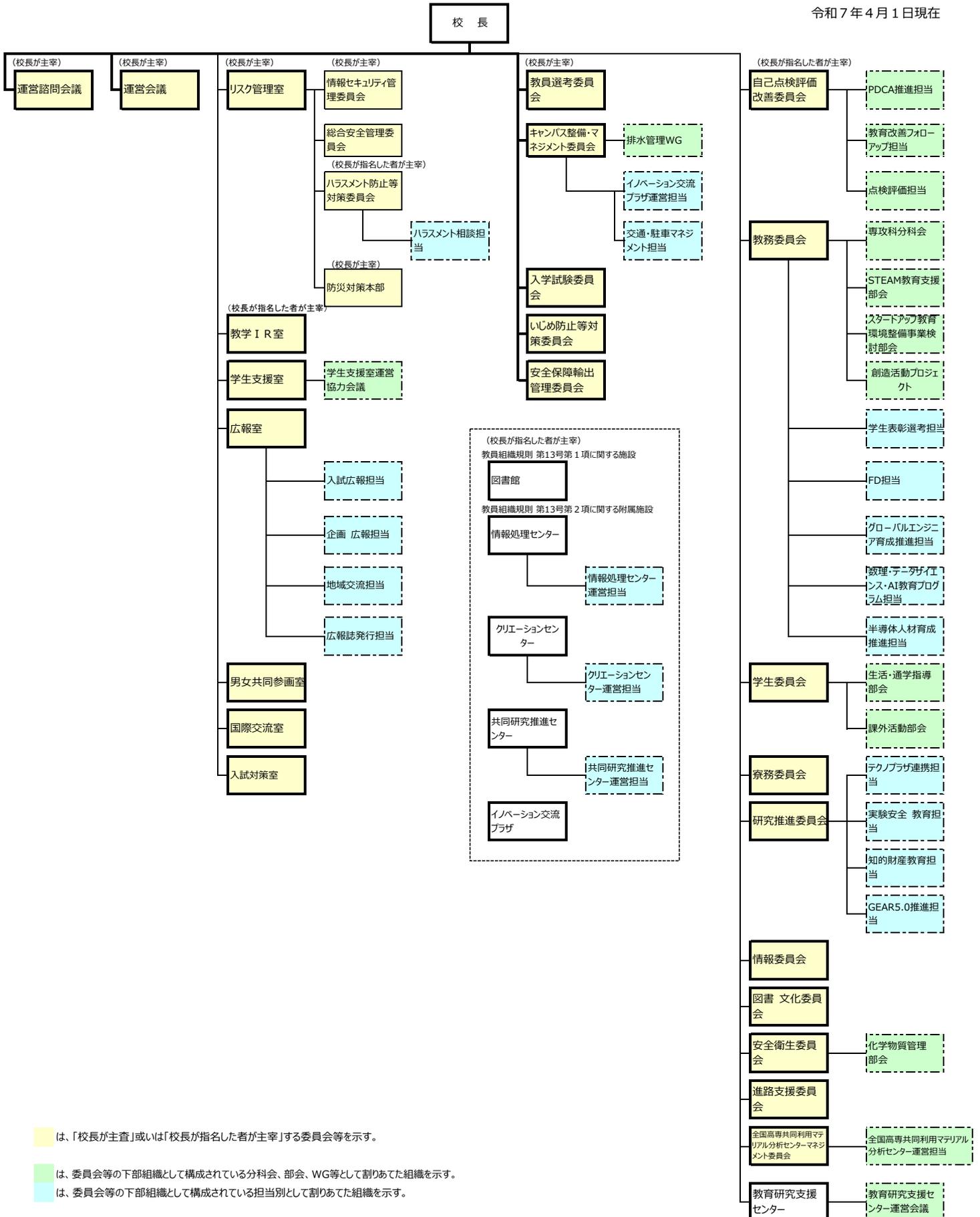
- <基礎>数学、自然科学および情報技術の知識を習得し、それを活用できる。
- <専門>基礎工学に加え、主となる専門分野において環境・資源、エネルギー・機能創成、ロボットテクノロジーの各コースに関する専門工学の知識を習得し、それを活用できる。
- <展開>習得した知識をもとに創造性を発揮し、他者と協働しながら仕事を計画的に進めまとめることができる。

#### (C) コミュニケーション能力

- <発表>自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に記述・伝達・討論できる。
- <英語>英語による基本的なコミュニケーションができる。

鈴鹿工業高等専門学校 運営体制図

令和7年4月1日現在



は、「校長が主宰」或いは「校長が指名した者が主宰」する委員会等を示す。

は、委員会等の下部組織として構成されている分科会、部会、WG等として割りあてた組織を示す。

は、委員会等の下部組織として構成されている担当別として割りあてた組織を示す。

○鈴鹿工業高等専門学校学生支援室規則

〔平成16年4月1日〕  
規則第21号  
最終改正令和7年3月6日

鈴鹿工業高等専門学校学生支援室規則

(趣旨)

第1条 この規則は、鈴鹿工業高等専門学校運営規則（平成16年学則第2号。以下「運営規則」という。）第2条の2第3項の規定に基づき、学生支援室（以下「支援室」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第2条 支援室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学習上の相談及び助言に関すること。
- (2) 進路の相談及び助言に関すること。
- (3) 精神衛生上の相談及び助言に関すること。
- (4) 学生生活に関する個人的諸問題の相談及び助言に関すること。
- (5) 学生のハラスメントに関する苦情相談に関すること。
- (6) 学生相談の業務に必要な資料の収集及び保存に関すること。
- (7) 学生への合理的配慮に関すること。
- (8) その他支援室の運営に必要な事項

(室長及び副室長)

第3条 支援室に室長を置き、必要に応じて副室長を置くことができるものとし、それぞれ校長が指名する。

2 室長は、校長の命を受けて支援室の業務を掌理する。

3 副室長は、室長の業務を補佐する。

(支援室相談員)

第4条 支援室に次の教職員及びカウンセラーで構成する学生支援室相談員を置く。

- (1) 教養教育科及び学科の教員 各1人
- (2) 看護師
- (3) カウンセラー
- (4) その他校長が必要と認めた者

2 支援室相談員は、室長の命を受けて支援室の業務を処理する。

(支援室運営協力会議)

第5条 支援室の運営、業務の企画立案及び連絡調整並びにその実施を図るため、支援室運営協力会議（以下「会議」という。）を置く。

- 2 会議の構成員は、室長及び副室長、学生主事、学生課長並びに学生支援室相談員をもって充て、校長が指名する。
  - 3 会議は、鈴鹿工業高等専門学校いじめ防止等基本方針（平成29年12月6日校長裁定。以下「基本方針」という。）第5に定める「学校におけるいじめの防止等の対策のための組織」として、基本方針に定める業務を行う。
  - 4 室長は、必要に応じ会議を開催し、その議長となる。  
（学年主任等との連携）
- 第6条 支援室は、学年主任、学級担任、担任補佐及びその他相談業務に係る関係教職員との緊密な連携及び協力の下に業務を行うものとする。  
（秘密の保持）
- 第7条 学生支援室相談員の業務を処理するに当たっては、個人の秘密が厳守されなければならない。  
（庶務）
- 第8条 支援室に関する庶務は、学生課において処理する。  
（雑則）
- 第9条 この規則に定めるもののほか、支援室の運営その他必要な事項は、学生委員会等の議を経て、校長が別に定める。
- 附則  
この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附則  
この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 附則  
この規則は、平成24年12月5日から施行する。
- 附則  
この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 附則  
この規則は、平成28年5月16日から施行し、平成27年4月1日から適用する。
- 附則  
この規則は、平成29年12月6日から施行する。
- 附則  
この規則は、令和6年12月4日から施行する。
- 附則  
この規則は、令和7年3月6日から施行する。

## ○ 鈴鹿工業高等専門学校入試対策室規則

令和7年6月4日  
規則第126号

## 鈴鹿工業高等専門学校入試対策室規則

## (趣旨)

第1条 この規則は、鈴鹿工業高等専門学校運営規則（平成16年学則第2号。以下「運営規則」という。）第2条の3第4項の規定に基づき、入試対策室（以下「対策室」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

## (業務)

第2条 対策室は、次に掲げる業務を処理する。

- (1) 入学者選抜の調査研究に関すること。
- (2) 入学者の選抜方法等に関すること。
- (3) その他対策室の運営に関すること。

## (室長及び副室長)

第3条 対策室に室長及び副室長をそれぞれ置き、校長が指名する。

- 2 室長は、校長の命を受けて対策室の業務を掌理する。
- 3 室長に事故あるときは、副室長がその職務を代行する。
- 4 副室長は、室長の事務を補佐する。

## (室員)

第4条 対策室に、次に掲げる室員を置く。

- (1) 室長の指名する教員
- (2) 総務課長及び学生課長
- (3) 学生課長の指名する学生課所属職員

## (委員以外の者の出席)

第5条 室長は、必要あると認めるときは、前条に規定する教職員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

## (庶務)

第6条 対策室に関する事務は、学生課で行う。

## (雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、対策室の運営その他必要な事項は、別に定める。

## 附 則

この規則は、令和7年6月4日から施行する。

## ○鈴鹿工業高等専門学校入学試験委員会実施要項

平成 16 年 6 月 2 日
校 長 裁 定

## 鈴鹿工業高等専門学校入学試験委員会実施要項

鈴鹿工業高等専門学校入学試験委員会（以下「委員会」という。）の実施要項を次のとおり定める。

- 1 委員会は、次に掲げる事項を処理する。
  - (1) 入学者選抜の基本方針の策定に関すること。
  - (2) 学生の募集方針の策定に関すること。
  - (3) 入学試験の実施方針の策定に関すること。
  - (4) 入学者の選考方針の策定に関すること。
  - (5) 入学候補者を決定すること。
  - (6) その他入学者の選抜に関すること。
- 2 委員会に副委員長を置き、教務主事をもって充てる。
  - 2 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 校長は、入学者選抜に関する業務を分掌させるため、必要に応じ各入学試験の区分毎に次の各号に掲げる担当員を委員会の議を経て教員のうちから委嘱する。
  - (1) 入学試験広報員
  - (2) 入学試験調査書・健康診断書審査員
  - (3) 入学試験問題出題員
  - (4) 入学試験監督員
  - (5) 入学試験面接員
  - (6) 入学試験採点員
  - 2 校長は、委員会の議を経て入学試験委員のうちから各担当員主査を委嘱する。
- 4 委員会の事務は、学生課において処理する。
- 5 この実施要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て校長が定める。

## 附 記

この要項は、平成 16 年 6 月 2 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。（目的）

## 令和6年度 第1回 運営会議議事録

日 時 令和6年4月10日(水) 15時15分～16時50分

場 所 共同研究推進センター・ミーティングルーム

出席者 ■■■校長、■■■■副校長、■■■■教務主事、■■■■学生主事、■■■■寮務主事、■■■■研究主事、■■■■専攻科長、■■■■機械工学科長、■■山電気電子工学科長、■■■■電子情報工学科長、■■■■生物応用化学科長、■■■■材料工学科長、■■教養教育科長、■■■■事務部長、■■■■総務課長、■■■■学生課長

欠席者 なし

## ◎議 事

## 【審議事項】

## 1. 第5期中期目標について

副校長より資料1に基づき、本校の第5期中期目標について説明があり承認され、中期目標を基に策定する中期計画及び年度計画を次回運営会議で審議することとなった。

副校長より、「デジタル・トランスフォーメーションを活用した業務の効率化」の記述について、適切な表現に変更可能か提案があり、「情報通信技術を活用した業務の効率化」に変更することとなった。

校長より、社会から分野に関わらずIT知識・技術が求められているため、高専生全員がIT人財となるような教育目標でもよいのではないかとの発言があった。また、目標を基に策定する中期計画及び年度計画を次回運営会議で審議することとなった。

教務主事より、中期目標中の「再掲」について、同様の内容は減らすことが可能かという指摘があり、記載方法について再度確認することとなった。

・資料1「鈴鹿工業高等専門学校における第5期中期目標」

## 2. 令和6年度組織表（校務分担）について

副校長より資料2に基づき、令和6年度組織表（校務分担）の変更について説明があり承認された。

・資料2「令和6年度組織表（校務分担）」

## 3. 運営規則の一部改正について

研究主事より資料3に基づき、令和6年度運営体制変更に伴う運営規則の一部改正について説明があり、承認された。

・資料3「運営規則の一部改正について」

## 4. 部会等規則の一部改正について

総務課長より資料4に基づき、令和6年度運営体制変更に伴う部会等規則の一部改正について説明があり、承認された。校長及び教務主事から知的財産教育担当の所掌範囲について質問があり、研究主事から、現状の業務分担に合わせ、教育担当は校内パテントコンテストなど学生の教育に関する業務を行い、教員の知的財産関連業務については研究推進委員会本体が担当するとの説明があった。

・資料4「部会等規則の一部改正について」

5. 知的財産権取扱規則の一部改正について  
研究主事より資料5に基づき、令和6年度運営体制変更に伴う知的財産権取扱規則の一部改正について説明があり承認された。
  - ・資料5「知的財産権取扱規則の一部改正について」
6. 全国高専共同利用マテリアル分析センター規程の一部改正について  
研究主事より資料6に基づき、令和6年度運営体制変更に伴う全国高専共同利用マテリアル分析センター規程の一部改正について説明があり承認された。
  - ・資料6「全国高専共同利用マテリアル分析センター規程の一部改正について」
7. 豊橋技術科学大学サテライトの設置について（豊橋技術科学大学との実践的な教育研究に関する覚書の締結について）  
教務主事より資料7に基づき、豊橋技術科学大学サテライトの設置に伴う実践的な教育研究に関する覚書の締結について説明があり承認された。
  - ・資料7「国立大学法人豊橋技術科学大学と独立行政法人国立高等専門学校機構鈴鹿工業高等専門学校との実践的な教育研究に関する覚書（案）ほか」
8. 4月1日～入学式までの期間における本校新入生のクラブ活動等への参加について  
学生主事より資料8に基づき、令和5年第6回運営会議にて議論された4月1日～入学式までの期間における本校新入生のクラブ活動等への参加について、入学式の日ではなく入学日から参加を認めることについて説明があり、承認され本校の入学日の取扱いについて確認することとなった。
  - ・資料8「4月1日～入学式までの期間における本校新入生のクラブ活動等への参加について」
9. 設備整備事業（マスタープラン・共同調達）について  
研究主事より資料9に基づき、機構本部に申請する令和6年度設備整備事業（マスタープラン・共同調達）について説明があり承認された。
  - ・資料9「令和6年度マスタープラン・共同調達導入希望設備一覧」
10. 鈴鹿工業高等専門学校における教育・研究施設の有効活用に関する規則の制定について  
研究主事より資料10に基づき、キャンパス整備マネジメント委員会で議論された鈴鹿工業高等専門学校における教育・研究施設の有効活用に関する規則の制定について説明があり承認された。
  - ・資料10「鈴鹿工業高等専門学校における教育・研究施設の有効活用に関する規則の制定について」
11. 要保護情報等の取扱いに関する規程の改正について  
学生課長より資料11に基づき、現状の学内運用との齟齬をなくすための要保護情報等の取扱いに関する規程の改正について説明があり、承認された。  
なお、教務主事より、資料84ページの「実施することを推奨する」との記述を「サーバの冗長化(推奨事項)」の表現に合わせてはどうかとの意見があり、確認のうえ、意味に相違なければ修正することとなった。
  - ・資料11「要保護情報等の取扱いに関する規程の改正について」
12. 令和6年度当初予算配分(案)について  
総務課長より口頭で、令和6年度当初予算配分（案）について説明があり、承認された。機構本部からの配分が1800万円のマイナスであることから、昨年度同様、4月に令和6年度当初予算配分額×効率化係数の半分を配分し残りは留保すること、予算執行及び光熱水費の状況を考慮し再配分は10月に行う

ことが説明された。なお、必要経費及び年間契約分については、4月に契約額満額を配分するとの補足説明があり、前期に暫定配分以上の執行を予定している場合は財務調達係まで相談いただきたいとの発言があった。

材料工学科長から、TA代が高騰しており従来の配分では対応が難しいため、考慮してほしいとの意見があり、対応することとなった。

### 1 3. 名誉教授称号の授与について

総務課長より資料12及び机上配布資料に基づき、名誉教授称号の授与について説明があり承認された。

- ・資料12「鈴鹿工業高等専門学校名誉教授の称号授与について」

### 1 4. 客員教授等の称号付与について

総務課長より資料13に基づき、客員教授等の称号付与について説明があり承認された。

- ・資料13「客員教授等の称号付与候補一覧」

### 1 5. 令和6年度防災訓練について

総務課長より資料14に基づき、令和6年度防災訓練について説明があり承認された。

- ・資料14「令和6年度防災訓練実施要領」

## 【報告事項】

### 1 6. 主事等からの報告

#### (1) 教務主事関係

- ・令和5年度学生身分異動及び令和6年度在学者数について

教務主事より資料15に基づき、令和5年度学生身分異動及び令和6年度在学者数について報告があった。

- ・資料15「令和5年度学生身分異動及び令和6年度在学者数」

#### (2) 学生主事関係

学生主事より資料16～18に基づき、下記3点について報告があった。

- ・令和6年度いじめ防止プログラムについて

- ・資料16「令和6年度鈴鹿工業高等専門学校いじめ防止プログラムについて(案)」

- ・令和6年度課外活動等における年次計画書について

- ・資料17「令和6年度クラブ活動時間・活動場所一覧」

- ・学生支援(Q-Uテスト、高専生活アンケート実施について)

- ・資料18「学生の健康調査(Hyper-QUテスト、高専生活に関するアンケート)実施について」

#### (3) 寮務主事関係

寮務主事より資料19に基づき、下記6点について報告があった。

- ・令和6年度前期学寮学生者数について

- ・令和6年度学寮防災ガイダンス実施要項について

- ・令和6年度鈴鹿工業高等専門学校学寮防災訓練の実施について

- ・令和6年度救急救命法講習会の実施について

- ・教員寮監マニュアルについて

バスダイヤの改正により、寮監業務の終了が最終バスに間に合わない可能性があるため、対応について検討中であるとの報告があった。

- ・A寮改修工事進捗状況について

- ・資料19「寮務主事報告」

・

## 17. 事務部からの報告

### (1) 総務課長関係

総務課長より資料20～23に基づき、下記4点について報告があった。

- ・令和6年度教育後援会総会・保護者懇談会・寮生保護者懇談会について
  - ・資料20「令和6年度鈴鹿工業高等専門学校教育後援会役員会・総会  
傷害共済会役員会・総会（合同会議）及び保護者と学校との  
懇談会の実施要項（案）」
- ・令和5年度国立高等専門学校教員顕彰受賞者について
  - ・資料21「令和5年度国立高等専門学校教員顕彰受賞者一覧」
- ・外部資金の受け入れ状況について  
専攻科長より、令和6年3月末に退職した正木教員分の寄付金処理につ  
いて質問があり、方法については確認することとなった。
  - ・資料22「外部資金関係年度月別一覧ほか」
- ・令和6年2月分電気使用量について  
総務課長より、今年度の光熱水費が800万円のマイナス配分となってい  
ることから昨年度と使用料金が同水準の場合、赤字となるため引き続き節  
電への協力依頼があった。
  - ・資料23「令和5年度電気使用量（全体）（学校分）」

### 18. その他

#### ◎次回の運営会議

次回の運営会議は、令和6年5月8日(水) 15時00分から17時00分の間におい  
て、会議室Bで開催します。

以 上

## 令和6年度 第1回 教職員会議議事録

日 時 令和6年5月15日(水) 15時00分-16時20分

場 所 第三合併講義室

出席者 教職員会議構成員

欠席者 XXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXX 各教職員

**【事項】**

## 1. 校長・事務部長からの報告

校長から資料1に基づき、令和6年度第1回高専機構校長・事務部長会議について報告があった。機関別認証評価について、特に前回の指摘事項については改善するよう発言があった。また、私的アカウントによる学生、保護者とのやり取りに係る機構本部通達について、本校の状況に合わせて内容を整理し周知を行う予定が示された。

・資料1「令和6年度第1回高専機構校長・事務部長会議」

## 2. 副校長・主事・専攻科長からの報告

(1) 副校長から、資料2に基づき、以下6点について報告があった。化学物質管理に関する安全衛生教育資料(動画)を時間があるときに確認願いたいこと、教育士・シニア教育士について申請願いたいことについて依頼があった。

・資料2「副校長報告」

1. 令和5年度国立高等専門学校教員顕彰
2. 教員の高専間異動希望調査の実施について
3. 高専と両技科大との教員交流の実施について
4. ISATE2024への参加について
5. 化学物質管理部会からの連絡
6. 教育士について(デジタルバッジ(オープンバッジ))

(2) 教務主事から、資料3に基づき、以下7点について報告があった。点検評価担当のXXXXXXXXXX教員と同一試験問題の出題を点検する仕組みについて検討していることが報告された。また、現在学習(学修)サポートを実施しているため、学生に周知いただきたいとの依頼があった。

・資料2「教務主事報告」

1. 試験問題について
2. 工場見学について

3. 留年生対応について
4. 学習（学修）サポートについて
5. 高専における人材育成について
6. 高専教育の質保証及び高度化について
7. 機関別認証評価の対応について

(3) 寮務主事から、口頭で、以下3点について報告があった。担任や関係教員に怪我をしている学生や退寮申出がある学生のサポートについて依頼があった。また、何か気づいたことがあれば寮へ報告願いたい旨依頼があった。

1. 留学生の状況について
2. 今年度入寮した学生の状況について
3. 2寮他の状況について

(4) 専攻科長から、資料4に基づき、専攻科の仕組み（個表等）に関する周知について説明があった。特別研究を担当する教員を、個表上の「指導教員」か「指導補助教員」に限定する方向で検討を予定しており、卒研からの継続的な特別研究を確保するため、できるだけ個表の申請を願いたいとの依頼があった。

・資料4「専攻科長報告」

(5) 研究主事から、資料5に基づき、以下8点について報告があった。学内研究推進費や校長裁量経費（英語論文校閲費）、研究力強化プログラムなど論文執筆支援について説明があり、これらを活用するなどし、科研費に申請いただきたいとの発言があった。また、令和6年5月24日（金）に開催されるテクノプラザ総会・講演会・懇親会について、積極的に参加願いたいとの依頼があった。

・資料5「研究主事報告」

1. 高専における研究や産学官連携の位置づけについて
2. 科研費（採択状況他）について
3. 学内教育研究推進費（個人・共同研究）について
4. 校長裁量経費（英語論文校閲費）について
5. 研究力強化プログラムの紹介
6. 研究倫理等について
7. 高専における「研究」の位置づけについて
8. 研究推進委員会のメンバーおよび業務紹介

以 上

次回教職員会議は、令和6年7月10日（水）に開催予定。



行った場合でも対応済みと解釈することとなっていたとの意見があり、教務主事からオンラインでの実施記録を教務係にて確認する旨の回答があった。

なお、教務主事から、工場見学の実施計画に関して今回のように特殊事情がある場合には例外的対応も含めて検討していきたいとの説明があった。

審議の結果、原案通り承認された。

#### 4. 留年生対応について

基本的には入学年度のカリキュラムのまま、現学年のカリキュラムに変更も可能

時間割で対応できない科目は、時間割外で個別に対応する

- ・カリキュラムの確認・変更，時間割外の対応の調整を，専門学科（主事補）にお願いしたい

カリキュラムの確認・変更は，なるべく4月中に済ませる（次年度より）

科目の読み替えについて，大まかな内容と単位数で判断する（教務係と共有してください）

一般科目の対応の調整は，教養の主事補に渡してください

- ・1～2年生については，現学年のカリキュラムに変更することを推奨したい

教務主事から、留年生のカリキュラムの確認・変更および時間割外の対応の調整について、低学年の学生を含めて専門学科にて主事補を中心に対応をお願いしたい旨、説明があった。なお、次年度よりカリキュラムの確認・変更対応は4月中済ませることとし、今年度に関してはなるべく早めの対応をお願いしたいこと、および、今後の運用の中で問題があれば都度検討していきたいことについて、教務主事から追加の説明があった。

審議の結果、原案通り承認された。

#### 5. 台湾研修旅行について

10月15日（火）～18日（金）

引率教員：主事＋教員10名（教養8名＋専門2名）

専門学科について，今年度の引率教員の候補調査をお願いします

※コロナ禍以前に，5学科1名ずつ引率してもらっています

教務主事から、台湾研修旅行の引率教員について、教養8名に加えて専門学科から2名選出することとして、次回教務委員会までに各学科内で候補調査を行い、引率可能な教員を1名選定いただきたい旨、説明と依頼があった。

■委員から、教養と専門の割り当てについて、教養7名・専門3名とすることについて提案があり、教務主事から、専門から何名出すかは関係教員の意見も聞いたうえで検討し、改めて諮りたい旨の回答があった。また、各学科内での候補調査は進めていただくよう依頼

された。

## 6. DPと学習・教育到達目標の見直しについて

見直しを検討します

DPに単位数を含めているところ

DPの各科共通部分をまとめられないか

DPと学習・教育到達目標を合わせることはできないか

教務主事から、現行のDPIについて、単位数を含めない記載とすること、各学科で共通する部分を統合することおよび学習教育到達目標を合わせることにに関して、見直しを行うかどうかも含めて検討したい旨の説明があった。

なお、見直しを行う場合は前期のうちに案を固めたい旨、補足の説明があった。

また、今後の方針について、DPIに加えてCP・APに関しても教務委員会にて検証を行いたい旨、教務主事から説明があった。

審議の結果、原案通り承認された。

## 報告事項

## 1. デザイン基礎について【資料4】

テーマの現状について確認する。

4/22(月)付でリマインド済

テーマの締め切りは本日 (4/24)

教務主事から現在の提出状況について報告があった。また、提出状況によっては協力を依頼する旨の補足があった。

## 2. FD案件について【資料5】

公開授業の参観に加えて、授業改善に関する資料の閲覧を推奨する。

授業改善方針の記入について

平均が3.0未満だった項目に対しては、具体的に改善の方針を記入するよう依頼する。

改善方針をレビューし、必要に応じて改善方針のブラッシュアップを促す。

(フォローアップ担当教員、教務主事補のうち、教務主事が適任と認めた教員)

教務主事から資料5に基づき、昨年度末に教務委員会で決定したFD活動の改善について報告があった。

## 3. 創造工学（カーボンニュートラル）について

4/12にキックオフ説明会を実施

住友電装株式会社C科が主となって

トライス株式会社E科が主となって

西岡可鍛工業株式会社I科が主となって

光精工株式会社S科が主となって

教務主事から、キックオフ説明会および各企業の対応学科について報告があった。各学科で対応する中で問題が発生した際には教務主事へ共有してほしい旨、補足があった。

## 4. 学習（学修）サポートについて【資料6】

1～3年の教室掲示、担任周知をします

(想定していなかった原級留置を減らすことを目的としています)

教務主事から資料6に基づき、報告があった。

## 5. グローバルアントレプレナーシッププログラムについて

前半部分

- (A) 全体オリエンテーション 5月9日(木) 16:30~18:00
- (B) イントロダクション・プログラム  
6/21(金), 25(火), 28(金), 7/2(火), 5(金) 各日16:30~18:00
- (C) KOSEN Global Camp inSUZUKA 9月9日(月) 夕方~16日(月) 午前(7泊8日)

教務主事から、今後のスケジュールについて報告があった。

#### 6. ■さんの寄付金について

金額：昨年度の未使用分500万円

使用計画：特別教室(第1/2合併教室・1/2講義室・視聴覚室)のスクリーンとプロジェクタの付け替え

教務主事から、寄付金の金額及び使用計画について報告があった。なお、寄付金用途について提案があれば■さんの意向も踏まえて検討する旨の補足があった。

#### 7. CBT作問とレビューについて【資料7・8】

作問：各科10問(計60問)

レビュー：各科40問(計240問)

教務主事から、資料7・8に基づき、CBT作問およびレビューの体制について説明があった。

その他：なし





を張って様子を確認して、寮生のサポートをして欲しい。

6. 1年生寮生と主事・主事補との懇談会について
  - ・生活状態を見て開催期日を調整する
  
7. 寮生保護者会の実施について5月11日（土） 10：30～ 第3合併講義室
  - ・主事、主事補、寮務関係者出席・・・主事補は全員参加ですので予定に入れておいて欲しい。
  - ・懇談後に寮食堂にて昼食会を行うが、主事補も参加していただき、保護者からの質問などの対応をお願いします。
  
8. その他
  - ・居室点検について、昨年度はスタートが遅れたが、今年度は早くから実施する予定である。

## 令和6年度 第1回研究推進委員会 兼 第1回共同研究推進センター運営担当者会議 議事概要

日時：令和6年4月4日（木）10:00～11:45

場所：会議室B

出席者：■■■■委員長（研究主事）、■■■■委員（副主事・I科）、■■■■委員（M科）、  
■■■■員（E科）、■■■■委員（C科）、■■■■委員（G科）、■■■■委員（G科）、  
■■■■員（教育セ）、■■■■委員（教育セ）、■■■■■■■■（教育セ）、■■■■事務部長、  
■■■■課長、■■■■課長補佐、■■■■主任

## 報告

1. 令和5年度第8回委員会議事録確認  
内容について確認をした。

議題（進捗状況＝進捗部分や困っている部分のみ、時間不足の場合は次回以降の議題へ）

## 0. 研究関係個別案件の主担当者検討

委員長より、資料に基づき本年度の研究推進委員会の業務分担について説明があり、了承された。また、以下のとおり補足説明があった。

- ・ものづくり企業交流会について、次回はM科かI科にお願いしたい。
- ・鈴鹿市リーダー研修については平日に開催することになった。また、今後はテーマ次第では技術職員の協力を得ることにしたい。
- ・知的財産教育に関しては昨年度までと同様に学生課教務係が担当する。

## 1. 設備整備事業（設備マスタープラン・共同調達事業）について

委員長より資料に基づき説明があり、本年度のマスタープラン及び共同調達導入希望の順位付け方法及び投票方法（Teams）について説明があり、了承された。

## 2. スペースチャージについて

委員長より資料に基づき説明があった。委員より、規程案第8条の使用料金の前納の期間について、1年を超えない予め許可された期間について支払うことにする修正の提案があり、了承された。

## 3. K-Team 関係の現状確認（ホームページの修正も含む）

## 4. テクノプラザ関連

委員長より次のとおり説明及び依頼があった。

- ・4/23に理事会、5/25に総会が開催予定である。
- ・理事会、総会、総会後の懇親会には、学内顧問（教養学科長を除く5学科の学科長）および幹事（研究主事補）として、学校側の代表という立場で、可能であれば出席願いたい。
- ・総会ではS科とM科、E科から1名ずつ演者をお願いしたい。
- ・11月後半に交流会を開催する予定であるので、可能であれば出席願いたい。

委員より、総会後の企業交流会について、出席委員の費用をテクノプラザが負担するのと、学生も参加可能にしたいとの意見があり、予算編成の際に提案することにした。

## 5. 更新（受託試験リスト）

## 6. 更新（学内予約システム）

## 7. 更新（研究設備利用リスト）

8. 機器の使用料の件（マテリアル分析センター案件）・・・現在「FIB-SEMのみ」が機能している「研究設備利用」の規則を調整するのが楽では？

9. 間接経費の件・・・一律30%は難しいか？

10. その他（今後の検討事項の紹介、議論などは次回以降）

委員長より、共同研究推進センター（材料分析室）玄関の開錠スケジュールについて説明があった。通常の土日は施錠しているが、高専祭やオープンキャンパスの日（出勤日）は開錠しているので、この日をどう対応するか提起があり、協議の結果、土日を除く出勤日（祝祭日含む）は開錠するが、高専祭およびオープンキャンパス開催日は施錠することにした。

<今後の会議予定>

開催日	時 間	場 所
5/29（水）	15：00～16：30	共同研究推進センター ミーティングルーム
6/26（水）	15：30～17：00	会議室 B
7/24（水）	15：00～16：30	会議室 B
8/28（水）	15：00～16：30	会議室 B
9/25（水）	15：00～16：30	会議室 B

## 令和6年度 第1回キャンパス整備・マネジメント委員会議事録

開催日時：令和6年4月10日（水） 14：45～

場 所：共同研究推進センター ミーティングルーム

出席者：■■■■校長，■■■■副校長，■■■■教務主事，■■■■学生主事，■■■■寮務主事  
■■■■研究主事，■■■■専攻科長，■■■■電気電子工学科長，■■■■電子情報工学科長，  
■■■■生物応用化学科長，■■■■材料工学科長，■■■■教養教育科長，■■■■事務部長，  
■■■■総務課長，■■■■学生課長

陪席者：■■■■総務課長補佐，■■■■財務・調達係長，■■■■施設係長，■■■■総務企画係員

欠席者：■■■■機械工学科長

## 審議事項

- (1) 鈴鹿工業高等専門学校における教育・研究施設の有効活用に  
関する規則の制定について

■■■■研究主事より、スペースチャージに関する規則の制定について説明があり、以下の通り委員の方から質問があった。

- ・スペースの貸出対象者については外部の方も対象となるか？  
回答：現段階では本校教員のみを対象としている。
- ・料金設定が1年間当たりとなっているが貸出期間が1年間に満たない場合はどうするのか？  
回答：日割り計算にて料金を算出し徴収させていただきます。
- ・使用期間の設定はあるのか？  
回答：使用期間については原則として1年を超えないこととしております。

上記の通り審議を行った結果、鈴鹿工業高等専門学校における教育・研究施設の有効活用に関する規則は了承された。



6. その他

・次回開催日について

次回の開催は、5月27日（月）16時20分からとなった。

## 令和6年度第1回入学試験委員会議事録

日時 令和6年4月17日（水）16時00分～17時12分

場所 会議室 B

出席者 (委員長) ■■■ 校長, ■■■ 副校長, ■■■ 教務主事, ■■■ 学生主事, ■■■ 寮務主事, ■■■ 研究主事, ■■■ 専攻科長, ■■■ 機械工学科長, ■■■ 電気電子工学科長, ■■■ 電子情報工学科長, ■■■ 生物応用化学科長, ■■■ 材料工学科長, ■■■ 教養教育科長, ■■■ 副専攻科長, ■■■ 入試対策室長, ■■■ 入試広報担当長, ■■■ 事務部長

欠席者

列席者 ■■■ 総務課長, ■■■ 学生課長, ■■■ 学生課長補佐, ■■■ 入試係長, 入試係 ■■■ 主任

## 議 題

## 1. 令和7年度専攻科入学試験実施要項について（資料1）

■■■ 専攻科長から、令和7年度専攻科入学試験実施要項について、資料1に基づき説明があり、審議の結果、承認された。配付資料は席上回収した。

## 2. 令和7年度編入学生募集について（資料2）

教務主事から、令和7年度編入学生募集について、資料2のとおり今年度は学年定員を超えて学生が在籍しているため、審議の結果、令和7年度編入学生募集を行わないことを決定した。

## 3. その他

■■■ 入試対策室長（前年度入試広報担当長）から学校案内ポスター暫定案について周知があった。

## 令和6年度第1回 図書・文化委員会 議事録

日 時 令和6年6月11日（火）16時15分～17時15分

場 所 Teams 会議

出席者 ■■■委員長, ■■■■教員, ■■■教員, ■■■■教員■■■■教員, ■■■教員,  
■■■教員, ■■■学生課長

欠席者 なし

陪席者 ■■■図書・情報係長, ■■■主任

## 議 題

## 【検討事項】

## 1. 紀要発行に関する高専機構ガイドラインへの対応について（資料1）

紀要発行に関する高専機構ガイドラインへの対応について、資料1に基づき説明があり、種々検討した結果、紀要の名称を変更せずに必要な対応を行うことになった。なお、紀要に関する規則等については、機構のガイドラインと機構が示した規則のひな型に基づき見直すことになった。

また、以下を確認した。

- ・6月早々に原稿募集について学内周知し、8月、10月にリマインドする。
- ・「論文」の提出締切日を令和6年11月22日（金）とし期日厳守とする。
- ・査読コメント後の執筆者の回答期限は、2週間とし厳守する。

## 2. 読書体験記等コンクールについて（資料2）

読書体験記等コンクールについて、資料2に基づき説明があり、原案どおり了承された。なお、体験記の学外に提出する5編については、昨年同様別の賞として表彰することとし、学内審査には加えないことを確認した。

## 3. 図書館利用促進等について（資料3）

図書館利用促進等について資料3に基づき説明があり、例年どおり読書キャンペーンを夏と冬の年2回実施することが了承された。

## 4. 令和6年度ブックハンティングの実施について（資料4）

令和6年度ブックハンティングの実施について、資料4に基づき説明があり、原案どおり了承された。

【報告事項】

5. 令和6年度電子ジャーナル及び電子データベースの契約について（資料5）  
令和6年度電子ジャーナルについて、資料5に基づき説明があった。
6. 令和5年度学会誌購入一覧について（資料6）  
令和5年度学会誌購入一覧について、資料6に基づき説明があった。
7. 令和6年度学生閲覧用購入雑誌・新聞等一覧について（資料7）  
令和6年度学生閲覧用購入雑誌・新聞等一覧について、資料7に基づき説明があった。
8. 令和6年度学生図書文化委員について（資料8）  
令和6年度学生図書文化委員について、資料8に基づき説明があった。
9. 図書館利用状況について（資料9）  
図書館利用状況について、資料9に基づき説明があった。
10. 各科選定図書の推薦について（資料10）  
各科選定図書の推薦について、資料10に基づき説明があった。
11. 令和6年度文化講座の開催について  
令和6年度文化講座の開催について、図書館長から令和6年度は後期に■■■■教員に内諾を得ており開催予定であることが報告された。
12. その他



情報教育・情報セキュリティ人材育成推進担当

セキュリティキャンプ三重 7/6(土)

情報セキュリティ教育

アカウント配布

学生向けネットワーク講習会

オンデマンド, 有線(クラブ・研究室向け), 無線(1年必須), メール(1年必須)

認証(1年必須), 諸々のリテラシー, マナー(全学年必須)

2, 3, 4, 5年, 専攻科1, 2年は4月のオリエンテーション(担任に資料配布)

2, 3年は4, 5月特活

情報リテラシー復習

授業の課題にしてしまう(情報セキュリティ概論1年, 情報処理II2年(アカウント管理, Webサービスの利用), データサイエンス概論3年)

R6年度3年は旧カリ情報セキュリティ概論で

メールの書き方

インターンシップ説明会, 進路支援委員会, ビジネスマナー講習

出前講座

三重県警 1I 情報セキュリティ概論 講演, CompTIA + アクセンチュア 4I IoT システム工学 講演 7/1, CompTIA + アクセンチュア 4I 電子情報工学実験 実習 後期予定, 中部管区警察局 4I 電子情報工学実験 実習 後期予定

情報処理センター運営担当

SMTP, IMAP サーバの MS365 機構テナントへの移行

MUA 変更

学認の多要素認証

2026年4月～運用システムの検討

## 令和6年度 第1回自己点検評価・改善委員会 議事概要

日 時： 令和7年2月18日（水）～2月20日（木）  
場 所： MicrosoftTeams による審議  
出席者： ■■■ 委員長（副校長・PDCA推進担当長）、■■■ 委員（教務主事・教育改善  
フォローアップ担当長）、■■■ 委員（点検評価担当長）、■■■ 委員（学生主事）、  
■■■ 員（寮務主事）、■■■ 委員（研究主事）、■■■ 委員（専攻科長）、■■■ 委員  
（副専攻科長 ■■■ 委員（機械工学科長）、■■■ 委員（電気電子工学科長）、■  
■■ 委員（電子情報工学科長）、■■■ 委員（生物応用化学科長）、■■■ 委員（材料工  
学科長）、■■ 委員（教養教育科長）、■■■ 委員（事務部長）

## 議 題

## 1. 基本方針の新規制定について

- ・鈴鹿工業高等専門学校教育の質保証に関する基本方針の新規制定について

資料に基づき基本方針の審議について審議を行った。

審議の結果、委員からの特段の意見等は無く、基本方針を制定することについて承認された。

以上



## 6. その他

・大学・大学院説明会について（教務係）12月11日（水）、17日（火）の2回を予定  
委員長から説明があり、進行はCS学科長が担当することとなった。

（現在の申し込みは2校「奈良先端・立命館」、これから調整していく）

・大学受験に関する公欠について（教務係）資料5  
進路ガイドブックに掲載してほしいことの見解があり、内容を Teams 審議にて行う。  
なお、今後追加する学校があれば、その都度 Teams 審議にて行うこととなった。

・学生への推薦受験に関する周知について(教務係)  
「前年と同様、3学年末春季休業以降（4～5学年）に特別指導を受けた学生については、進学における推薦を行わない旨、学年末ガイダンスで行うこととする。このことを3学年担任に周知する必要があることを確認した。」こと確認した。  
なお、対象の特別指導とは停学以上（令和3年第2回進路支援委員会にて決定）となり、学科長への対象学生の情報共有を質問があればしていくとなる。

・進路決定学生への体験記の催促  
委員長から各学科長へ依頼を行った。

また、求人情報について保護者も閲覧できるようにならないかとの意見があり、検討することとした。

## 令和6年度第1回いじめ防止等対策委員会議事録

日時：令和6年5月22日（水）入試委員会終了後 15時15分～40分

場所：会議室B

出席者：■■■■ 校長、■■■■ 副校長、■■■■ 教務主事、■■■■ 学生主事、■■■■ 寮務主事、  
■■■■ 専攻科長、■■■■ 学生相談室長、■■■■ 事務部長、■■■■ 学生課長、

欠席者：■■■■ 看護師

陪席者：学生支援係

## 議題

## 1. 令和6年度いじめ防止プログラムについて

■■■■ 学生主事より、令和5年度第6回いじめ防止等対策委員会にて策定された内容から、11月にいじめ防止等対策委員会が追加されたことの説明があった。

## 2. 令和6年度いじめ防止月間について

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 期間 令和6年6月1日（土）～30日（日）</li><li>2. 趣旨 いじめというものを正しく理解するとともに、いじめの未然防止及び早期発見を目指した取組みをポスターによる啓発やいじめに関連した調査を行う</li><li>3. 主な活動<ul style="list-style-type: none"><li>・いじめ理解度テスト</li><li>・啓発ポスターの掲示</li><li>・体罰・いじめ・ハラスメント調査の実施</li></ul></li><li>4. いじめ理解度テスト・関連調査については、別途通知のうえ実施します。</li></ol> |
|--|

■■■■ 学生主事より、資料に基づいて説明があり学生向けの調査内容を監査にて指摘があったいじめを受けたことを直接聞かない形式の設問に修正して「いじめ理解度テスト」及び「体罰・ハラスメント・いじめ実態把握調査」を実施することとした。

## 3. その他

次回：7月24日（水）15：00～

令和5年度 第2回全国高専共同利用マテリアル分析センター運営委員会 議事概要

日時：令和6年3月7日（木） ～ 3月13日（水）

場所：Microsoft Teams による審議

出席者：■■■■委員長（研究主事）、■■■■副委員長（副主事）、■■■■委員、■■■■委員、■■■■委員、  
■■■■委員、■■■■委員

審議事項

1. 全国高専共同利用マテリアル分析センター運営委員会の改組について

改組のポイント

- ・全国高専共同利用マテリアル分析センターの弾力的な運用が図れるように、新たに「運営担当」を設置し、従来の運営委員会は「マネジメント委員会」に改名し、主にセンターの管理や、校内の横断的な取組等に対応する。

資料に基づき審議を行った。

審議の結果、委員からの特段の意見等は無く、案のとおり改組することについて承認された。